

大学番号 私立188

注3

設置年度 平成 31年度
計画の区分： 学部の設置
注1

届出

藤田医科大学 保健衛生学部 (必要がある場合) ○○専攻
注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人藤田学園
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学事務局学務部学務課

職名・氏名 カチヨウ コガ ナオキ
課長・古賀 尚樹

電話番号 0562-93-9420

(夜間) 0562-93-9420

e-mail hs-kyomu@fujita-hu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院 ・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合: 「○○大学」
- ・学部の設置の場合: 「○○大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合: 「○○大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合: 「○○短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合: 「○○大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合: 「○○大学大学院 ○○研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合: 「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

保健衛生学部

ページ	<看護学科>
1	1. 調査対象大学等の概要等
5	2. 授業科目の概要
14	3. 施設・設備の整備状況、経費
15	4. 既設大学等の状況
16	5. 教員組織の状況
48	6. 附帯事項等に対する履行状況等
49	7. その他全般的事項

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人藤田学園

(2) 大 学 名

藤田医科大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒470-1192

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98

- (注) ・ 対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・ 対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理事長	(オノ ユウイチロウ) 小野 雄一郎 (平成23年4月)	(ホシナガ キヨタカ) 星長 清隆 (平成30年10月)	任期満了に伴う変更 平成30年10月2日（元）
学 長	(ホシナガ キヨタカ) 星長 清隆 (平成26年4月)	(サイトウ エイイチ) 才藤 栄一 (平成31年4月)	辞任に伴う変更 平成31年4月1日（元）
学 部 長	—	(カナダ ヨシキヨ) 金田 嘉清 (平成31年4月)	医療科学部長より、 保健衛生学部長へ変更 平成31年4月1日（元）
学 科 長	—	(ミヨシ ユミコ) 三吉 友美子 (平成31年4月)	医療科学部看護学科長より、 保健衛生学部看護学科長へ変更 平成31年4月1日（元）

- (注) ・ 「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・ 大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・ 大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)
 - ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
 - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
 - ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
保健衛生学部 看護学科	保健衛生学関係 (看護学関係)	4年	135人		年次人	540人	
学士（看護学）							

- (注)
 - ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
 - ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和 年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員		人 135 (-) [0]	人 () []											
志願者数		1344 (-) [3]	1380 (-) [7]	1755 (-) [0]										
受験者数		1338 (-) [3]	1373 (-) [7]	1738 (-) [0]										
合格者数		544 (-) [3]	675 (-) [7]	755 (-) [0]										
B 入学者数		135 (-) [3]	140 (-) [7]	140 (-) [0]										
入学定員超過率 B/A		1.00	1.03	1.03										

- (注)
 - ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
 - ・ （　）内には、編入学の状況について外數で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（　）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内數で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください**。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。**計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください**。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和 年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	135 [3] (-)		142 [7] (2)		141 [—] (-)		[—] (1)	[—] ()					
2年次			127 [1] (-)		139 [7] (1)		[—] ()	[—] ()	[—] ()	[—] ()	[—] ()	[—] ()	
3年次					126 [1] (-)		[—] (-)	[—] ()					
4年次									[—] ()				
計	135 [3] (-)		269 [8] (2)		406 [8] (2)				[—] ()	[—] ()			

・令和3年5月1日 公表

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳		主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数 うち留学生数	
令和元年度	135 人	6 人	令和元年度	6 人 2 人	他教育機関への入学・転学(2名)就職(1人)除籍(1人) [学生個人の心身に関する事情(2人)]
令和2年度	269 人	3 人	令和元年度	2 人 0 人	除籍(1人)学生個人の心身に関する事情(1人)
			令和2年度	1 人 0 人	他の教育機関への入学・転学(1人)
令和3年度	406 人	0 人	令和元年度	0 人 0 人	
			令和2年度	0 人 0 人	
			令和3年度	0 人 0 人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人 人	
			令和2年度	人 人	
			令和3年度	人 人	
			令和4年度	人 人	
令和 年度	人	人	令和元年度	人 人	
			令和2年度	人 人	
			令和3年度	人 人	
			令和4年度	人 人	
			令和5年度	人 人	
合 計	9 人		9 人	2 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
- (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{135} = \boxed{4.44\%}$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{269} = \boxed{1.11\%}$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{406} = \boxed{0\%}$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!}\%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!}\%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健衛生学部 看護学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	生命倫理学	4前	2					1			1
	心理学	1前	2					1			1
	教育学	1後	2					1			1
	文学	1前		1				1			1
	哲学	1前		1				1			1
	倫理学	1前		1				1			1
	自然科学	1前		1				1			1
	生命科学	1前		2				1			1
	人間行動科学	4前		2				1			1
	手話	2前	1	2				1			1
	英語	1前	2	2				1			1
	看護英語 I	2後	2					1			1
	看護英語 II	3前		2				1			1
	ドイツ語	2前		2				1			1
	中国語	3前		2				1			1
	英会話	2前	2	2				1			1
	ポルトガル語	2後		2				1			1
小計(17科目)		-	12	18	0	0	2	1	0	0	13
環境の理解	社会学	2前		1				1			1
	文化人類学	1後		2				1			1
	数学	1前		2				1			1
	物理学	1後		2				1			1
	化学	1前		2				1			1
	日本国憲法	1後		2				1			1
	経済学	4前		1				1			1
	基礎ゼミ	1通	2					7	8	11	12
小計(8科目)		-	2	12	0	7	8	11	12	4	6
合計(25科目)		-	14	30	0	7	8	12	12	4	19
専門的知識	人体形態学	1前	2								2
	人体機能学	1前	2								1
	小計(2科目)	-	4	0	0	0	1	0	0	0	3
	医療関係法規	2後	1					1			2
	社会福祉論	2前	1								2
	社会保障論	2後	1								2
	保健医療福祉行政論 I	2前		1							1
	保健医療福祉行政論 II	2前		2							1
	情報機器の操作	1後		2							1
	保健統計学	1後	1								1
	保健統計学演習	3前		1							1
	疫学	2後		2							1
	音楽療法	4後		1							1
専門科目	環境科学論	4前		1							1
	公衆衛生学	2前	1								1
	生活環境方法論	3前		1							1
	小計(13科目)	-	5	11	0	1	2	0	0	0	10
	スポーツ・健康科学	1通	2								2
	微生物学	1前	1								1
	免疫学	1後	1								1
	生化学	1後	1								1
	栄養学	1後	1								1
	薬理学	1後	1								1
健康の理解	病理学	1後	1								1
	看護のための病態生理	1後	1					1			1
	成人期疾病論 I	2前	1					1			1
	成人期疾病論 II	2後	1					1			1
	成人期疾病論 III	2前	1					1			1
	小児期疾病論	2後	1								2
	精神疾病論	3前	1								1
	診断のための検査学	2後		1				1			1
	放射線医学	3前	1								1
	医用機器管理論	4前		1							1
	医療論	1前		1							1
	コンピュメンタリーセラピー	2後		1							1
	小計(18科目)	-	15	4	0	3	1	2	0	0	13
合計(33科目)		-	24	15	0	4	3	2	0	0	23

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	生命倫理学	4前	2								1
	心理学	1前	2								1
	教育学	1後	2								1
	文学	1前		1							1
	哲学	1前		1							1
	倫理学	1前		1							1
	自然科学	1前		1							1
	生命科学	1前		2							1
	人間行動科学	4前		2							1
	手話	2前	1	2							1
	英語	1前	2	2							1
	看護英語 I	2後	2								1
	看護英語 II	3前		2							1
	ドイツ語	2前		2							1
	中国語	3前		2							1
	英会話	2前	2	2							1
	ポルトガル語	2後		2							1
小計(17科目)		-	12	18	0	0	1	0	0	0	17
環境の理解	社会学	2前			1						1
	文化人類学	1後			2						1
	数学	1前			2						1
	物理学	1後			2						1
	化学	1前			2						1
	日本国憲法	1後			2						2
	経済学	1前			2						1
	基礎ゼミ	1通	2					7	9	10	13
小計(8科目)		-	2	12	0	7	9	10	13	1	8
合計(25科目)		-	14	30	0	7	9	10	13	1	24
専門的知識	人体形態学	1前			2						4
	人体機能学	1前			2						1
	小計(2科目)	-	4	0	0	0	1	0	0	0	2
	医療関係法規	2後	1								1
	社会福祉論	2前	1								2
	社会保障論	2後	1								3
	保健医療福祉行政論 I	2前		1							1
	保健医療福祉行政論 II	2前		2							1
	情報機器の操作	1後		2							1
	保健統計学	1後	1								1
	保健統計学演習	3前		1							1
	疫学	2後		2							1
	音楽療法	4後		1							1
専門科目	環境科学論	4前		1							0
	公衆衛生学	2前	1								0
	生活環境方法論	3前		1							0
	小計(13科目)	-	5	11	0	2	0	0	0	0	10
	スポーツ・健康科学	1通	2								2
	微生物学	1前	1								1
	免疫学	1後	1								1
	生化学	1後	1								1
	栄養学	1後	1								1
	薬理学	1後	1								1
健康の理解	病理学	1後	1								1
	看護のための病態生理	1後	1								1
	成人期疾病論 I	2前	1								1
	成人期疾病論 II	2後	1								1
	成人期疾病論 III	2前	1								1
	小児期疾病論	2後	1								2
	精神疾病論	3前	1								5
	診断のための検査学	2後		1				1			1
	放射線医学	3前	1								1
	医用機器管理論	4前		1							1
	医療論	1前		1							12
	コンピュメンタリーセラピー	2後		1							2
	小計(18科目)	-	15	4	0	3	1	2	0	0	55
合計(33科目)		-	24	15	0	4	3	2	0	0	87

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手	
基礎看護学系	看護学概論	1前	1			1					
	対人コミュニケーション	1前	1			1	1		2	1	
	基本看護技術 I	1前	2			1	1	2	1	1	
	基本看護技術 II	1後	2			1	1	2	1	1	
	看護過程展開論 I	1後	1			1	1	2	1	1	
	看護過程展開論 II	2前	2			1	1	2	1	1	
	看護と安全	4前	1			3	2	8	11	4	1
	基礎看護学実習 I	1後	1			2	3	6	11	4	
	基礎看護学実習 II	2前	2			-	13	0	0	3	2
小計(9科目)											
成人看護学系	成人看護学概論	1後	1			1					
	成人看護学概論 成人文行・カル・開手術期看護方法論	2前	1			1			1		
	成人セルフケア方法論	2前	1			1			1		
	成人看護学演習	2前	1			1	1	1	4		
	成人看護学演習 成人看護学実習(カリカル・開手術期)	3前	2			1	1	1	4		
	成人看護学実習(セルフケア)	3後	3			1	1	1	3		
	小計(7科目)	-	12	0	0	1	1	1	4	0	
	小児看護学概論	2前	1			1	1	1			
	成長発達保健論	2後	1			1	1	1			
小児看護学系	小児実践看護 I	3前	1			1					
	小児実践看護 II	3前	1			1	1	1			
	小児実践看護 III	3後	2			1	1	1			
	小児看護学実習	3後	2			-	6	0	0	1	1
	小計(5科目)	-	6	0	0	0	1	1	1	0	
	母性セルフケア看護 I	2前	1			1					
	母性セルフケア看護 II	2後	2			1					
	母性セルフケア看護 III	3前	1			2			1		
	母性看護学実習	3後	2			2			1		
小計(4科目)											
精神看護学系	精神看護学概論	1後	1			1					
	精神保健看護論	2前	1			1					
	精神看護学方法論	3前	2			1	1				
	精神看護学実習	3後	2			1	1	1			
	小計(4科目)	-	6	0	0	2	0	0	1	0	
	老年看護学概論	1後	1			1					
	老年看護学援助論	2後	2			2			2		
	老年看護実践方法論	3前	1			2			2		
	老年看護学実習 I	3後	1			2			1		
老年看護学系	老年看護学実習 II	4前	3			2			1		
	小計(5科目)	-	8	0	0	0	0	0	0	2	1
	在宅看護学概論	2前	1			1					
	在宅看護学方法論	2後	2			1	1				
	在学看護学演習	3前	1			1	2		2		
	在宅看護学実習	3後	2			1	2		2		
	小計(4科目)	-	6	0	0	0	1	2	0	2	
	公衆衛生看護学概論 I	1後	1			1					
	公衆衛生看護学概論 II	2前	1			1					
公衆衛生看護学系	地域診断論	3前	1			1					
	学校保健・産業保健	2後	2			1	1				
	地域ケアシステム論	3後	3			1	1	1			
	公衆衛生看護援助方法論	3前	2			1	3				
	公衆衛生看護実践論 I	2前	2			1	1				
	公衆衛生看護実践論 II	2後	2			1	1				
	健康教育論	3後	3			2	1	2			
	公衆衛生看護管理論	4前	4			1	1	2			
	公衆衛生看護学実習 I	4前	4			1	1	2			
	公衆衛生看護学実習 II	4後	1			1	1	2			
小計(12科目)											
統合看護	家族と看護	2前	1			1	1	1	3		
	災害看護	4後	1			1	1	1			
	国際看護	3前	1			1	1	1			
	リハビリテーション看護	3前	1			1	1	1	1		
	看護研究方法論	3前	1			1	1	1	1		
	卒業研究	4通	2			7	7	11	12	4	
	看護管理学	4前	1			1	2	9	11	4	
	統合実習	4前	2			3	2	9	11	4	
	小計(8科目)	-	9	1	0	7	7	11	12	4	
合計(58科目)											
自由科目	国際医学概論	1前				2					1
	異文化看護概論	1~2・3・4前				2					1
	インターフィット	1~2・3・4前				2					1
小計(3科目)											
合計(119科目)											
卒業要件及び履修方法											
卒業要件は必修科目105単位、選択科目19単位以上を修得し、124単位以上を修得したうえで卒業試験に合格することとする。なお、特別教育活動(アセンブリ)へ参加すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))											

【令和3年度】

科目区分	授業科目的名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手	
基礎看護学系	看護学概論	1前	1			1					3
	対人コミュニケーション	1前	1			1	3	4	8	0	0
	基本看護技術 I	1前	2			1	2	1	4	0	10
	基本看護技術 II	1後	2			1	2	1	4	0	10
	看護過程展開論 I	1後	1			1	1	0	0	0	15
	看護過程展開論 II	2前	2			1	2	1	4	0	0
	看護と安全	4前	1			1	1	1	4	0	
	基礎看護学実習 I	1後	1			3	2	5	12	1	
	基礎看護学実習 II	2前	2			2	6	13	1		38
小計(9科目)											
成人看護学系	成人看護学概論	1後	1			1					2
	成人セルフケア方法論	2前	1			1	1	2	3	3	5
	成人看護学演習	2前	1			1	1	2	3	3	19
	成人看護学演習 (カリカル・開手術期)	3前	3			1	1	2	3	3	
	成人看護学演習(セルフケア)	3後	3			1	1	2	3	3	
	小計(7科目)	-	12	0	0	1	1	1	4	0	
	小児看護学概論	2前	1			1					
	成長発達保健論	2後	1			1					
	小児実践看護 I	3前	1			1					
小児看護学系	小児実践看護 II	3前	1			1					
	小児実践看護 III	3後	2			1					
	小児看護学実習	3後	2			1					
	小計(5科目)	-	6	0	0	0	1	1	1	0	
	母性セルフケア看護 I	2前	1			1					
	母性セルフケア看護 II	2後	2			1					
	母性セルフケア看護 III	3前	1			2					
	母性看護学実習	3後	2			1					
小計(5科目)											
精神看護学系	精神看護学概論	1後	1			1					
	精神保健看護論	2前	1			1					
	精神看護学方法論	3前	2			1	1				
	精神看護学実習	3後	2			1	1	1			
	小計(4科目)	-	6	0	0	0	2	0	1	0	5
	老年看護学概論	1後	1			1					
	老年看護援助論	2後	2			1					
	老年看護実践方法論	3前	1			2					
	老年看護学実習 I	3後	1			2					
老年看護学系	老年看護学実習 II	4前	3			1					
	小計(5科目)	-	8	0	0	0	0	0	0	3	0
	在宅看護学概論	2前	1			1					
	在宅看護学方法論	2後	2			2					
	在学看護学演習	3前	1			1	2				
	在宅看護学実習	3後	2			1	2				
	小計(4科目)	-	6	0	0	0	1	2	0	1	5
	公衆衛生看護学概論 I	1後	1			1					
	公衆衛生看護学概論 II	2前	1			1					
公衆衛生看護学系	地域診断論	3前	1			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	
基礎科目	生命倫理学	4前	2					1		1
	心理学	1前	2					1		1
	教育学	1後	2		1			1		1
	文学	1前			1			1		1
	哲学	1前		1				1		1
	倫理学	1前		1				1		1
	自然科学	1前		1				0		1
	生命科学	1前		1				2		2
	人間行動科学	4前		2				1		2
	手話	2前		2				1		1
	英語	1前	2			1			1	2
	看護英語 I	2後	2		2					2
	看護英語 II	3前			2					2
	ドイツ語	2前		2						1
	中国語	3前		2						1
	英会話	2前	2						2	2
	ポルトガル語	2後		2						1
	小計(17科目)	-	12	18	0	0	2	2	0	14
環境の理解	社会学	2前		1						1
	文化人類学	1後		2						1
	数学	1前		2						1
	物理学	1後		2						1
	化学	1前		2						1
	日本国憲法	1後		2						1
	経済学	4前		1						1
	基礎ゼミ	1通	2			7	7	10	15	4
	小計(8科目)	-	2	12	0	7	7	10	15	4
	合計(25科目)	-	14	30	0	7	7	10	15	4
人間の理解	人体形態学	1前	2							1
	人体機能学	1前	2							1
	小計(2科目)	-	4	0	0	0	1	0	0	0
専門基礎科目	医療関係法規	2後	1			1				2
	社会福祉論	2前	1							1
	社会保障論	2後	1							1
	保健医療福祉行政論 I	2前		1						1
	保健医療福祉行政論 II	2前		2						1
	情報機器の操作	1後		2						1
	保健統計学	1後	1							1
	保健統計学演習	3前		1						1
	疫学	2後		2						1
	音楽療法	4後		1						1
	環境科学論	4前		1		1				1
	公衆衛生学	2前	1							1
	生活環境方法論	3前		1		1				1
	小計(13科目)	-	5	11	0	1	2	0	0	10
健康の理解	スポーツ・健康科学	1通	2							2
	微生物学	1前	1							1
	免疫学	1後	1							1
	生化学	1後	1							1
	栄養学	1後	1							1
	薬理学	1後	1							1
	病理学	1後	1							1
	看護のための病態生理	1後	1			0	1			1
	成人期疾病論 I	2前	1			1				1
	成人期疾病論 II	2後	1			1				1
	成人期疾病論 III	2前	1				1			2
	小児期疾病論	2後	1						2	1
	精神疾病論	3前	1						1	3
	診断のための検査学	2後		1			1			1
	放射線医学	3前	1						1	1
	医用機器管理論	4前		1		1				1
	医療論	1前		1		1				1
	コンピューターセラピー	2後		1		1				1
	小計(23科目)	-	15	4	0	3	0	3	0	0
	合計(33科目)	-	24	15	0	4	3	3	0	0
										44

【令和元年度】

科目区分	授業科目的名称	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎看護学系	看護学概論	1前	1		1	3	1	3	1	4	3
	対人コミュニケーション	1前	1		3	2	1	3	2	11	1
	基本看護技術 I	1前	2		2	2	1	3	2	10	1
	基本看護技術 II	1後	2		2	2	1	3	1	1	10
	看護過程展開論 I	1後	1		2	1	3	1	1	1	1
	看護過程展開論 II	2前	2		1	1	2	1	1	1	1
	看護と安全	4前	1		2	2	7	13	2	2	1
	基礎看護学実習 I	1後	1		2	3	6	12	3	2	1
	基礎看護学実習 II	2前	2		2	3	6	12	3	2	1
小計(9科目)		-	13	0	0	3	3	7	13	3	11
成人看護学系	成人看護学概論	2後	1		1			1			
	成人ケルカム・南手術期看護方法論	2前	1		0	1	0				
	成人セルフケア方法論	2前	1		0	1	2	3			
	成人看護学演習	3前	2		1	0	2	3			
	成人看護学実習(ケルカム・南手術期)	3後	3		1	0	2	3			
	成人看護学実習(セルフケア)	3後	3		1	0	2	3			
	小計(7科目)	-	12	0	0	1	0	2	4	0	
	小児看護学概論	2前	1			1	1	1			
	成長発達保健論	2後	1			1	1	1			
小児看護学系	小児実践看護 I	3前	1			1	1	1			
	小児実践看護 II	3前	1			1	1	1			
	小児看護学実習	3後	2			1	1	1			
	小計(5科目)	-	6	0	0	0	1	1	1	0	
	母性セルフケア看護 I	2前	1			1					
	母性セルフケア看護 II	2後	2			1					
	母性セルフケア看護 III	3前	1			2					
	母性看護学実習	3後	2			2					
	小計(4科目)	-	6	0	0	2	0	0	1	0	
専門科目	精神看護学概論	1後	1			1					
	精神保健看護論	2前	1			1					
	精神看護学方法論	3前	2			1	1	1			
	精神看護学実習	3後	2			1	1	1			
	小計(4科目)	-	6	0	0	0	1	1	1	0	
	老年看護学概論	1後	1					2			
	老年看護学援助論	2後	2					2			
	老年看護実践方法論	3前	1					2			
	老年看護学実習 I	3後	1					3	0		
在宅看護学系	老年看護学実習 II	4前	3					3	0		
	小計(5科目)	-	8	0	0	0	0	0	3	0	
	在宅看護学概論	2前	1			1					
	在宅看護学方法論	2後	2			1	1				
	在学看護学演習	3前	1			1	2				
	在宅看護学実習	3後	2			1	2				
	小計(4科目)	-	6	0	0	0	1	2	0	2	
	公衆衛生看護学概論 I	1前	1			1					
	公衆衛生看護学概論 II	2前	1			1					
公衆衛生看護学系	地域診断論	3前	1			1					
	学校保健・産業保健	2後	1			1					
	地域ケアシステム論	3後	1			1	0				
	公衆衛生看護援助方法論	3前	2			1	1	2			
	公衆衛生看護実践論 I	2前	2			1	1	0			
	公衆衛生看護実践論 II	2後	2			1					
	健康教育論	3後	2			1	2	1			
	公衆衛生看護管理論	4前	1			1	1	1			
	公衆衛生看護学実習 I	4前	4			1	1	1			
統合看護	公衆衛生看護学実習 II	4後	1			1	1	1			
	小計(12科目)	-	1	18	0	1	2	2	0	0	
	家族と看護	2前	1			1	1		3		
	災害看護	4後	1				1				
	国際看護	3前	1				1				
	リハビリテーション看護	3前	1				0		1		
	看護研究方法論	3前	1			1	0		1		
	卒業研究	4通	2			7	6	11	12	4	
	看護管理学	4前	1			1					
統合実習		4前	2			3	2	9	11	4	
合計(58科目)	小計(8科目)	-	9	1	0	7	6	11	12	4	
	合計(58科目)	-	67	19	0	7	8	11	12	4	11
	自由科目	国際医学概論	-	105	64	6	10	8	13	16	4
	異文化看護概論	1・2・3・4前		2							1
	インターフィット	1・2・3・4前		2			1				1
	小計(3科目)	-	0	0	6	0	0	1	0	0	2
	合計(119科目)	-	105	64	6	10	8	13	16	4	65
卒業要件及び履修方法											
卒業要件は必修科目105単位、選択科目19単位以上を修得し、124単位以上を修得したうえで卒業試験に合格することとする。なお、特別教育活動(アセンブリ)へ参加すること。 (履修科目の登録の上限:49単位(年間))											

【令和2年度】

科目区分	授業科目的名称	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎看護学系	看護学概論	1前	1		1	2	4	4	4	0	4
	対人コミュニケーション	1前	1		2	2	1	3	0	0	14
	基本看護技術 I	1前	2		2	2	1	3	0	0	12
	基本看護技術 II	1後	2		2	1	3	0	0	0	15
	看護過程展開論 I	1後	1		2	1	3	1	0	0	1
	看護過程展開論 II	2前	2		1	1	2	1	1	1	33
	看護と安全	4前	1		2	3	6	11	1	1	3
	基礎看護学実習 I	1後	1		2	3	9	11	1	1	1
	基礎看護学実習 II	2前	2		2	3	9	11	1	1	10
小計(9科目)		-	13	0	0	4	4	9	11	1	33
成人看護学系	成人看護学概論	2後	1		1						
	成人ケルカム・南手術期看護方法論	2前	1		0	1	0				
	成人セルフケア方法論	2前	1		0	1	2	3			
	成人看護学演習	3前	2		1	0	2	3			
	成人看護学実習(ケルカム・南手術期)	3後	3		1	0	2	3			
	成人看護学実習(セルフケア)	3後	3		1	0	2	3			
	小計(7科目)	-	12	0	0	1	0	2	4	0	10
	小児看護学概論	2前	1								
	成長発達保健論	2後	1								
小児看護学系	小児実践看護 I	3前	1								
	小児実践看護 II	3前	1								
	小児看護学実習	3後	2								
	小計(5科目)	-	6	0	0	0	1	1	1	0	
	母性セルフケア看護 I	2前	1								
	母性セルフケア看護 II	2後	2								
	母性セルフケア看護 III	3前	1								
	母性看護学実習	3後	2								
	小計(4科目)	-	6	0	0	0	2	0	1	0	0
専門科目	精神看護学概論	1後	1								
	精神保健看護論	2前	1								
	精神看護学方法論	3前	2								
	精神看護学実習	3後	2								
	小計(4科目)	-	6	0	0	0	2	1	1	0	1
	老年看護学概論	1後	1								
	老年看護学援助論	2後	2								
	老年看護実践方法論	3前	1								
	老年看護学実習 I	3後	1								
在宅看護学系	老年看護学実習 II	4前	3								
	小計(5科目)	-	8	0	0	1	0	0	3	0	12
	在宅看護学概論	2前	1								
	在宅看護学方法論	2後	2								
	在学看護学演習	3前	1								
	在宅看護学実習	3後	2								
	小計(4科目)	-	6	0	0	0	2	2	1	1	5
	公衆衛生看護学概論 I	1後	1								
	公衆衛生看護学概論 II	2前	1								
公衆衛生看護学系	地域診断論	3前	1								
	学校保健・産業保健	2後	1								
	地域ケアシステム論	3後	1								
	公衆衛生看護援助方法論	3前	2								
	公衆衛生看護実践論 I	2前	2								
	公衆衛生看護実践論 II	2後	2								

- (注) • 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字として記入してください。
- 離修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。
- （2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
- 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) -②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・授業の充実を図るため、「自然科学」を「兼任・兼担1」から専任教員「講師1」に変更。
- ・授業の充実を図るため、「生命科学」を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」に変更。「英語・授業の充実を図るため、「英語」を「兼任・兼担2」から「准教授1、兼任・兼担1」に変更。
- ・専任教員の職位変更、就任辞退、新規採用により、「基礎ゼミ」の専門教員の配置を「教授7、准教授8、講師11、助教12、助手4」から「教授7、准教授7、講師10、助教15、助手4」に変更。
- ・専門性の高い授業の充実を図るため、「人体形態学」を「兼任・兼担2」を兼任教員の「兼任・兼担1」に変更。
- ・就任辞退、授業の充実を図るために、「看護のための病態生理」を「准教授1」から「講師1、兼任・兼担1」に変更。
- ・実務経験者による専門性の深化及び授業の充実を図るために、「看護学概論」の教員配置を「教授1」から「教授1、兼任・兼担3」に変更。
- ・実務経験者による専門性の深化及び授業の充実を図るために、「対人コミュニケーション」の配置を「准教授1」から「教授3、准教授1、講師3、助教3、助手1、兼任・兼担4」に変更。
- ・専任教員の採用、実務経験者による専門性の深化を図るために、「基本看護技術I」の教員配置を「准教授1、講師1、助教2、助手1」から「准教授2、講師1、助教3、助手2、兼任・兼担1」に変更。
- ・専任教員の採用、実務経験者による専門性の深化を図るために、「基本看護技術II」の教員配置を「准教授1、講師1、助教2、助手1」から「准教授2、講師1、助教3、助手2、兼任・兼担10」に変更。
- ・専任教員の採用、専門性の深化及び授業の充実を図るために、「看護過程展開論I」の教員配置を「准教授1、講師1、助教2、助手1」から「准教授2、講師1、助教3、助手1、兼任・兼担1」に変更。
- ・専任教員の採用、専門性の深化及び授業の充実を図るために、「基礎看護学実習I」の教員配置を「教授3、准教授2、講師8、助教11、助手4」から「教授2、准教授2、講師7、助教3、助手2、兼任・兼担2」に変更。
- ・教員の昇任により「成人セルフケア方法論」を「助教1」から「講師1」に変更。
- ・専任教員の就任辞退により「成人がん・難病・ターミナル看護方法論」を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・専任教員の職位変更により「成人看護学演習」を「教授1、准教授1、講師1、助教4」から「教授1、講師2、助教3」に変更。
- ・専任教員の職位変更により「成人看護学実習（クリティカル・周手術期）」を「教授1、講師1、助教4」から「教授1、講師2、助教3」に変更。
- ・専任教員の職位変更により「成人看護学実習（セルフケア）」を「教授1、准教授1、講師1、助教3」から「教授1、講師2、助教3」に変更。
- ・専任教員の職位変更により「老年看護学実習I」「老年看護学実習II」を「助教2、助手1」から「助教3」に変更。
- ・専任教員の職位変更により「地域ケアシステム論」「公衆衛生実践論I」を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員の職位変更により「公衆衛生看護援助方法論」を「教授1、講師3」から「教授1、准教授1、講師2」に変更。
- ・専任教員の職位変更により「公衆衛生看護実践論I」を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員の職位変更により「健康教育論」を「教授1、准教授1、講師2」から「教授1、准教授2、講師1」に変更。
- ・専任教員の職位変更により「公衆衛生看護管理論」「公衆衛生看護学実習I」「公衆衛生看護学実習II」を「教授1、講師2」から「教授1、准教授1、講師1」に変更。
- ・専任教員の就任辞退により「看護研究方法論」を「教授1、准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員の就任辞退により「卒業研究」を「教授7、准教授7、講師11、助教12、助手4」から「教授7、准教授6、講師11、助教12、助手4」に変更。

【令和2年度】

- ・退職に伴い、「自然科学」を専任教員「講師1」から「兼任1」に変更。
- ・授業の充実及び教員負担軽減を顧慮し、「スポーツ健康科学」を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・退職に伴い、実務経験者の専門性の深化及び授業の充実を図るため、「看護のための病態生理」を専任教員「講師1」から「兼任1」に変更。
- ・教育の充実及び教員負担軽減を顧慮し、「化学」を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るために、「英語」を「兼任2」から「兼任1、兼任1」に変更。
- ・退職、職位変更、新規採用により、「基礎ゼミ」の専任教員の配置を「教授7、准教授7、講師10、助教15、助手4」から「教授7、准教授9、講師9、助教12、助手1」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「人体形態学」を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「看護学概論」を「教授1、兼任3」から「教授1、兼任1、兼任3」に変更。
- ・実務経験者による専門性の高い深化及び授業の充実を図るために、「対人コミュニケーション」を「教授3、准教授1、講師3、助教3、助手1、兼任4」から、「教授2、准教授4、講師4、助教4、兼任4」に変更。
- ・実務経験者による専門性の深化及び授業の充実を図るために、「基本看護技術Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授2、講師1、助教3、助手2、兼任1」から「准教授2、講師1、助教3、兼任1」に変更。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るために、「基本看護技術Ⅱ」の専任教員の配置を「准教授2、講師1、助教3、助手1、兼任・兼任10」から、「准教授2、講師1、助教3、兼任12」に変更。
- ・新規採用、教育の充実を図るために、「看護過程展開論Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授2、講師1、助教3、助手1」から「准教授2、講師1、助教3」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「老年看護学概論」の専任教員の配置を「助教2」から「教授1、助教3」に変更。
- ・退職、新規採用、実務経験者による専門性の深化及び授業の充実のため、「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員の配置を「教授2、准教授2、講師7、助教13、助手2、兼任2」から「教授2、准教授2、講師5、助教11、助手1」に変更。
- ・退職に伴い、「異文化看護概論」を「講師1」から専任教員の「准教授1」に変更。
- ・教育の充実及び教員負担軽減を顧慮し、「国際医学概論」「兼任1」を専任教員の「教授1、准教授1、講師1」、「兼任・兼任16」に変更。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るために、「ボルトガル語」を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るために、「社会保障論」を「兼任2」から「兼任2、兼任1」に変更。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るために、「社会福祉論」を「兼任2」から「兼任3」
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るために、「公衆衛生学」を「兼任1」から専任教員「教授1」に変更。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るために、「疫学」を「兼任1」から専任教員「教授1」、「兼任2」に変更。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るために、「コンブリメンタリーセラピー」を「教授1」から専任教員「教授1、講師1」、「兼任1」に変更。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るために、「家族と看護」を「教授1」から「教授1、講師2、助教1」に変更。
- ・実務経験者による専門性の深化と教育の充実を図るために、「老年看護学援助論」を「助教2」から「教授1、助教3、兼任12」に変更。
- ・実務経験者による専門性の深化及び授業の充実を図るために、「在宅看護学概論」を「准教授1」から「准教授1、兼任1」に変更。
- ・退職、専任教員職位変更、実務経験者による専門性の深化及び授業の充実を図るために、「在宅看護学方法論」を「准教授1、講師1」から専任教員「准教授2、講師2、助教1」、「兼任4」に変更。
- ・退職に伴い、「成人がん・難病・ターミナル看護方法論」を「准教授1」から専任教員「准教授1、講師2、助教3」、「兼任3」に変更。
- ・退職に伴い、「成人セルフケア方法論」を「講師1」から専任教員「講師1、助教1」、「兼任5」に変更。
- ・専任教員の職位変更、授業の充実を図るために、「母性セルフケア看護Ⅱ」を「教授1」から専任教員「教授、講師1」に変更。
- ・実務経験者による専門性の深化及び授業の充実を図るために、「看護過程展開論Ⅱ」を「准教授1、講師1、助教1、専任教員「准教授2、講師1、助教3」、「兼任15」に変更。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るために、「成人期疾病論Ⅲ」を「兼任1」から専任教員「准教授1」、「兼任6」に変更。
- ・定年退職、実務経験者による専門性の深化及び教育の充実を図るために、「小児期疾病論」を「兼任1」から「兼任12」に変更。
- ・実務経験者による専門性の深化及び授業の充実を図るために、「精神保健看護論」を「准教授1」から「准教授1、兼任1」に変更。
- ・退職、新規採用、職位変更により、「基礎看護学実習Ⅱ」を「教授2、准教授3、講師6、助教12、助手3」から「教授2、准教授3、講師9、助教11、助手1」に変更。
- ・退職に伴い、「公衆衛生看護学実践論Ⅱ」を「講師1」から専任教員「教授1、准教授2」、「兼任1」に変更。
- ・新規採用、専門性の深化及び教育の充実を図るために、「学校保健・産業保健」を「教授1」から専任教員「教授1、助教1」に変更。
- ・退職に伴い、「公衆衛生看護学実習Ⅰ」の「講師1」を削除し、専任教員「助教1」を追加。
- ・退職に伴い、「公衆衛生看護学実習Ⅱ」の「講師1」を削除し、専任教員「助教1」を追加。

【令和3年度】

- ・教育の充実を図るため、「基礎セミ」を「専任教員1」を削除し、専任教員「講師1」、「助教2」、兼任教員「准教授1」を追加。
- ・健康上の理由及び教育の充実を図るために、「生活環境方法論」を「准教授1」から「講師1」、「助教1」に変更。
- ・退職に伴い、「免疫学」の兼任教員「教授1」を削除し、専任教員「講師1」、兼任教員「講師1」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「教育学」の兼任教員「講師1」から「講師1」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「疫学」から兼任教員「助教1」を削除し、専任教員「教授1」、兼任教員「教授1」に変更する。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るために、「医療論」は専任教員「教授1」から、兼任教員「教授13」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「英会話」に兼任教員「准教授1」を追加。
- ・教育の充実を図るために、「英語」に兼任教員「准教授1」、兼任教員「講師1」を追加。
- ・教育の充実を図るために、「看護英語Ⅰ」に兼任教員「准教授1」を追加。
- ・専門性の深化を図るために、「看護英語Ⅱ」に兼任教員「准教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「看護学概論」に専任教員「講師2」を追加。
- ・領域変更に伴い、「基本看護技術Ⅰ」から「講師1」を削除し、教育の充実を図るために、専任教員「教授1」「准教授1」「助教1」を追加、また、兼任教員「助教11」から、兼任教員「助教7」に変更。
- ・領域変更に伴い、「基本看護技術Ⅱ」から「講師1」を削除し、教育の充実を図るために、専任教員「教授1」「助教1」を追加、また、兼任教員「助教9」から「助教7」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「リハビリテーション看護」に専任教員「准教授1」、兼任教員「教授2」、兼任教員「講師4」「助教1」を追加。
- ・教育の充実及び教員の調整を図るために、「対人コミュニケーション」から、専任教員「専任教員1」「教授1」「講師2」、兼任教員「助教3」を削除し、専任教員「教授1」「講師1」「助教3」を追加。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るために、「老年看護実践方法論」に専任教員「教授1」「助教1」を追加。
- ・教育の充実を図るために、「人体形態学」に専任教員「准教授1」を追加。
- ・教育の充実を図るために、「放射線医学」に兼任教員「教授2」「准教授1」「講師1」「専任教員1」、兼任教員「講師2」を追加。
- ・教育の充実を図るために、「精神疾病論」から兼任教員の「教授1」を削除し、兼任教員の「准教授1」「講師2」「助教2」に変更。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るために、「小児期疾病論」から兼任教員「講師1」を削除し、兼任教員「教授1」「講師1」を追加。
- ・教育の充実を図るために、「看護過程展開論Ⅰ」から専任教員「准教授1」「講師1」「助教2」を削除し、専門教員「教授1」「准教授1」に変更。
- ・領域変更に伴い、「基礎看護学実習Ⅰ」から「講師1」を削除し、専門性の深化を図るために、専任教員「准教授1」「講師1」を削除し、「講師2」「助教1」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「コンプリメンタルセラピー」の兼任教員「講師1」から兼任教員「教授1」「助教1」を追加。
- ・領域変更に伴い、「看護過程展開論Ⅱ」から「講師1」を削除。
- ・教育の充実を図るために、「看護過程展開論Ⅱ」の兼任教員「助教6」から、専任教員「講師1」「助教1」、兼任教員「助教5」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「成人セルフケア方法論」の兼任教員「助教」から、専任教員「助教1」に変更し、兼任教員「助教1」を追加。
- ・領域変更に伴い、「基礎看護学実習Ⅱ」から「講師1」を削除し、専門性の深化を図るために、「准教授1」「講師2」削除し、「助教2」を追加。
- ・専門性の深化を図るために、「母性セルフケア看護Ⅱ」に兼任教員「教授1」を追加。
- ・教育の充実を図るために、「在宅看護学方法論」の兼任教員「講師1」から「講師1」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「成人期疾病論Ⅲ」の兼任教員「助教1」から「助教1」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「小児実践看護Ⅱ」に兼任教員「助教4」を追加。
- ・専門性の深化と教育の充実を図るために、「家族と看護」から専任教員「助教1」を削除し、専任教員「准教授1」「講師1」を追加。
- ・退職に伴い、「成人期疾病論Ⅲ」を専任教員「准教授1」から兼任教員「講師1」に変更。
- ・専門性の深化を図るために、「老年看護学援助論」の兼任教員「助教3」から「助教2」に変更。
- ・専門性の深化を図るために、「小児実践看護Ⅰ」に、専任教員「准教授1」「助教1」、兼任教員「助教1」を追加。
- ・教育の充実を図るために、「成人クリティカル・周手術期看護方法論」の兼任教員「助教1」から、専任教員「准教授1」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「成人看護学演習」に専任教員「准教授1」「講師1」「助教1」を追加。また、兼任教員「助教18」を追加。
- ・教育の充実を図るために、「在宅看護学演習」に専任教員「助教1」を追加。
- ・教育の充実を図るために、「母性セルフケア看護Ⅲ」に兼任教員「助教1」を追加。
- ・教育の充実を図るために、「公衆衛生看護援助方法論」に専任教員「助教1」を追加。
- ・教育の充実を図るために、「公衆衛生看護管理論」に専任教員「助教1」を追加。
- ・教育の充実を図るために、「公衆衛生看護学概論Ⅱ」に専任教員「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「母性看護学実習」の専任教員「専任教員」「特任教員」から兼任教員「助教1」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「老年看護学実習Ⅰ」に専任教員「教授1」を追加。
- ・教育の充実を図るために、「老年看護学実習Ⅱ」に専任教員「教授1」を追加。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るために、「成人看護学実習（クリティカル・周手術）」に専任教員「准教授1」「講師1」「助教」を追加。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るために、「成人看護学実習（セルフケア）」に専任教員「准教授1」「講師1」「助教2」を追加。
- ・教育の充実を図るために、「在宅看護学実習」に専任教員「助教1」を追加。
- ・健康上の理由から「精神看護学実習」の専任教員「准教授1」を削除。
- ・健康上の理由及び専門性の深化を図るために、「健康教育論」の専任教員「准教授1」から「助教1」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「地域診断論」に専任教員「准教授1」「助教1」を追加。
- ・教育の充実を図るために、「国際看護」に兼任教員「講師1」「助教1」を追加。
- ・退職に伴い、「災害看護」を専任教員「講師1」から「助教1」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「看護と安全」に専任教員「教授1」「准教授1」を追加。
- ・専門性の深化及び教員の調整を図るために、「統合実習」の専任教員「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・教育の充実を図るために、「卒業研究」に専任教員「教授2」「准教授2」「講師1」「助教6」を追加。
- ・教育の充実を図るために、「看護研究方法論」に専任教員「講師1」を追加。
- ・教育の充実を図るために、「看護研究方法1」に専任教員「助教1」を追加。

【令和4年度】

(記入例)

- ・××の理由により、「英語Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・●●の理由により、「経済学入門」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・▲▲の理由により、授業科目の名称を「数理統計学」から「数理統計学Ⅰ」に変更。

- (注) ② (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目的追加など）を箇条書きで記入してください。変がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ② 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ③ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
74 科目	42 科目	3 科目	119 科目	74 []	42 []	3 []	119 []	

- (注) ④ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、〔 〕内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) • 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 • 履修希望者がいなかったために未開講となつた科目については記入しないでください。
 • 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 • 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) • 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 • 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 • 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) • 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{119} = \boxed{0\%}$$

- (注) • 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 • 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容					備考		
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 校地面積の集計状況変更の為(3)			
	校舎敷地	237,929.20m ² 236,098.72m ² 132,000.49m ²	0.00m ²	0.00m ²	237,929.20m ² 236,098.72m ² 132,000.49m ²				
	運動場用地	46,351.00m ² 46,351.11m ²	0.00m ²	0.00m ²	46,351.00m ² 46,351.11m ²				
	小計	284,280.20m ² 282,449.72m ² 178,351.49m ²	0.00m ²	0.00m ²	284,280.20m ² 282,449.72m ² 178,351.49m ²				
	その他	154,796.31m ² 138,113.82m ² 84,081.18m ²	0.00m ²	0.00m ²	154,796.31m ² 138,113.82m ² 84,081.18m ²				
	合計	439,076.51m ² 420,563.54m ² 262,432.67m ²	0.00m ²	0.00m ²	439,076.51m ² 420,563.54m ² 262,432.67m ²				
	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 校舎面積の集計状況変更の為(2)(3)				
(2) 校舎		91,306.41m ² 93,295.01m ² 81,879.93m ²	0.00m ²	0.00m ²	91,306.41m ² 93,295.01m ² 81,879.93m ²				
(3) 教室等		講義室 4室 72室	演習室 11室 64室	実験実習室 5室 128室	情報処理学習施設 0室 (補助職員 0人)	語学学習施設 0室 (補助職員 0人)	改修工事・他学部・他学科を抜いたため変更(3)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室数			専任教員増減、リバーリーション学科を抜いた為変更(2)-(3)		
		保健衛生学部 看護学科		40 73 66			室		
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
	保健衛生学部	169,188 [74,603] 170,551 [77,527] 170,837 [81,202] 179,622 [80,898] (170,551 [77,527])	3,538 [1,835] 3,553 [1,881] 3,517 [1,896] 3,454 [1,886] (3,553 [1,881])	3,289 [1,829] 3,299 [1,875] 3,245 [1,888] 3,161 [1,875] (3,299 [1,875])	2,054 2,212 2,136 4,592 (2,212)	8,193 7,871 8,022 7,982 (7,871)	15 (15)		
	計	169,188 [74,603] 170,551 [77,527] 170,837 [81,202] 179,622 [80,898] (170,551 [77,527])	3,538 [1,835] 3,553 [1,881] 3,517 [1,896] 3,454 [1,886] (3,553 [1,881])	3,289 [1,829] 3,299 [1,875] 3,245 [1,888] 3,161 [1,875] (3,299 [1,875])	2,054 2,212 2,136 4,592 (2,212)	8,193 7,871 8,022 7,982 (7,871)	15 (15)		
(6) 図書館		面積		閲覧座席数		収納可能冊数			
		2,668.35m ² 3,364.49m ²		300 298 280		167,225冊 200,000冊			
(7) 体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		3,344.71m ²		弓道場					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度		
	経費の見積り	教員1人当たり研究費等	637千円 625千円	732千円 664千円 640千円 640千円	図書購入費	532千円	606千円		
	共同研究費等	6,150千円 5,360千円	3,135千円 6,700千円 6,820千円 6,030千円	設備購入費	7,016千円	7,991千円	8,770千円 9,355千円 8,770千円		
	学生1人当たり納付金	1,700千円	1,550千円	1,550千円	1,550千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) - 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。）
- 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - 「(5) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	藤田医科大学						学生募集停止学科数	5	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
医学科	6	120	-	720	-	1.00	1.00	-	昭和47	-	平成27年度入学定員増(5名)
医療科学部	4	230	-	885	-	1.05	1.03	-	平成20	-	平成28年度入学定員増(5名)
医療検査学科	4	140	-	560	学士 (医療検査科学)	1.01	1.01	-	平成31	愛知県豊明市沓掛町 田楽ヶ窪1番地98	
臨床検査学科	4	-	-	-	学士 (保健衛生学)	-	-	-	昭和43	同上	平成31年4月学生募集停止
看護学科	4	-	-	-	学士 (看護学)	-	-	-	昭和43	同上	平成31年4月学生募集停止
放射線学科	4	90	-	325	学士 (診療放射線技術学)	1.06	1.07	-	昭和62	同上	平成31年4月定員増(35名)
リハビリテーション学科	4	-	-	-	学士 (理学療法学) 学士 (作業療法学)	-	-	-	平成16	同上	平成31年4月学生募集停止
理学療法専攻	4	-	-	-	学士 (理学療法学)	-	-	-	平成16	同上	平成31年4月学生募集停止
作業療法専攻	4	-	-	-	学士 (作業療法学)	-	-	-	平成16	同上	平成31年4月学生募集停止
臨床工学科	4	-	-	-	学士 (臨床工学)	-	-	-	平成20	同上	平成31年4月学生募集停止
医療経営情報学科	4	-	-	-	学士 (医療経営情報学)	-	-	-	平成20	同上	平成31年4月学生募集停止
保健衛生学部	4	250	-	1,000	-	1.02	1.04	-	平成31	愛知県豊明市沓掛町 田楽ヶ窪1番地98	
看護学科	4	135	-	540	学士 (看護学)	1.02	1.03	-	平成31	同上	
リハビリテーション学科	4	115	-	460	学士 (理学療法学) 学士 (作業療法学)	1.02	1.04	-	平成31	同上	
理学療法専攻	4	70	-	280	学士 (理学療法学)	1.00	1.00	-	平成31	同上	
作業療法専攻	4	45	-	180	学士 (作業療法学)	1.07	1.11	-	平成31	同上	
大学全体	-	600	-	2,605	-	1.02	1.03	-	-	-	
大学の名称	藤田医科大学大 学院						学生募集停止学科数	6	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医学研究科	年	人	年次人	人		倍	倍				
医学専攻	4	57	-	218	-	0.72	0.77	-	昭和53	-	愛知県豊明市沓掛町 田楽ヶ窪1番地98
形態系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	-	-	昭和53	同上	平成30年4月学生募集停止
機能系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	-	-	昭和53	同上	平成30年4月学生募集停止
保健衛生系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	-	-	昭和53	同上	平成30年4月学生募集停止
分子医学系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	-	-	昭和62	同上	平成30年4月学生募集停止
内科系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	-	-	昭和53	同上	平成30年4月学生募集停止
外科系専攻	4	-	-	-	博士(医学)	-	-	-	昭和53	同上	平成30年4月学生募集停止
医科学専攻	2	5	-	10	修士(医科学)	0.70	0.60	-	令和2	同上	令和2年4月新設
保健学研究科	-	58	-	124	-	1.18	1.13	-	平成13	-	
保健学専攻	2	50	-	100	修士(保健学) 修士(看護学)	1.17	1.12	-	平成13	愛知県豊明市沓掛町 田楽ヶ窪1番地98	
医療科学専攻	3	8	-	24	修士(医療科学)	1.20	1.25	-	平成27	同上	平成31年定員増(4名)
大学院全体	-	115	-	342	-	0.95	0.95	-	-	-	

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとに、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

＜保健衛生学部 看護学科＞

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【令和元年度】		【令和2年度】		【令和3年度】		【令和4年度】		
専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名		
専	教授 (学 科 長)	三吉 友美子 <平成31年4月> 博士(看護学)	専	教授 (学 科 長)	三吉 友美子 <平成31年4月> 博士(看護学)	専	教授 (学 科 長)	三吉 友美子 <平成31年4月> 博士(看護学)	専	教授 (学 科 長)
		看護学概論 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究			看護学概論 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究			看護学概論 基礎看護学実習Ⅰ 基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究		
専	教授	久納 智子 <平成31年4月> 修士(心身健康学)	専	教授	久納 智子 <平成31年4月> 修士(心身健康学)	専	特任 教授	久納 智子 <平成31年4月> 修士(心身健康学)	専	特任 教授
		基礎ゼミ 母性セルフケア看護Ⅰ 母性セルフケア看護Ⅲ コンプリメンタリーセラピー 母性看護学実習 卒業研究			対人コミュニケーション 基礎ゼミ アフターケア看護Ⅰ 母性セルフケア看護Ⅲ コンプリメンタリーセラピー 母性看護学実習 卒業研究			対人コミュニケーション 基礎ゼミ 母性セルフケア看護Ⅰ 母性セルフケア看護Ⅲ コンプリメンタリーセラピー 母性看護学実習 卒業研究		
専	教授	水野 輝子 <平成31年4月> 博士(看護学)	専	教授	水野 輝子 <平成31年4月> 博士(看護学)	専	教授	水野 輝子 <平成31年4月> 博士(看護学)	専	教授
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究方法論※ 看護管理学 統合実習 卒業研究			基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究方法論※ 看護管理学 統合実習 卒業研究			看護過程展開論Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミⅡ 基礎看護学実習Ⅱ 看護研究方法論※ 看護管理学 統合実習 卒業研究		
専	教授	中村 小百合 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	中村 小百合 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	中村 小百合 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授
		成人看護学概論 基礎ゼミ 成人看護学演習 成人看護学実習(セルフケア) 成人看護学実習(クリティカル・周手術) 卒業研究			成人看護学概論 基礎ゼミ 成人看護学演習 成人看護学実習(セルフケア) 成人看護学実習(クリティカル・周手術) 卒業研究			成人看護学概論 基礎ゼミ 成人看護学演習 成人看護学実習(セルフケア) 成人看護学実習(クリティカル・周手術) 卒業研究		
専	教授	小野木 啓子 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	小野木 啓子 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	小野木 啓子 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授
		医療論 成人期疾病論Ⅱ 卒業研究			医療論 成人期疾病論Ⅱ 卒業研究			医療論 成人期疾病論Ⅱ 卒業研究		
専	教授	川井 薫 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	川井 薫 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	川井 薫 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授
		基礎ゼミ 環境科学論			基礎ゼミ 環境科学論			基礎ゼミ 国際医学概論 公衆衛生学 環境科学論		
専	教授	藤原 郁 <平成31年4月> 終始(社会福祉学)	専	教授	藤原 郁 <平成31年4月> 終始(社会福祉学)	専	教授	藤原 郁 <平成31年4月> 修士(社会福祉学)	専	教授
		基礎ゼミ 家族と看護※ 母性セルフケア看護Ⅱ 母性セルフケア看護Ⅲ 母性看護学実習 統合実習 卒業研究			対人コミュニケーション 基礎ゼミ 家族と看護※ 母性セルフケア看護Ⅱ 母性セルフケア看護Ⅲ 母性看護学実習 統合実習 卒業研究			対人コミュニケーション 基礎ゼミ 家族と看護※ 母性セルフケア看護Ⅱ 母性セルフケア看護Ⅲ 母性看護学実習 統合実習 卒業研究		
専	教授	世古 留美 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	世古 留美 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	世古 留美 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授
		公衆衛生看護学概論Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 公衆衛生看護学概論Ⅱ 学校保健・産業保健 地域診断論 公衆衛生看護援助方法論 健康教育論 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 卒業研究			対人コミュニケーション 基础看護学概論Ⅰ 基础看護学実習Ⅰ 基础看護学概论Ⅱ 公衆衛生看護学概論Ⅱ 学校保健・産業保健 地域診断論 公衆衛生看護援助方法論 健康教育論 公衆衛生看護理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 卒業研究			対人コミュニケーション 基础看護学概論Ⅰ 基础看護学実習Ⅰ 基础看護学概论Ⅱ 公衆衛生看護学概論Ⅱ 学校保健・産業保健 地域診断論 公衆衛生看護援助方法論 健康教育論 公衆衛生看護理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 公衆衛生看護学実習Ⅱ 卒業研究		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名	
専 任	教 授	中井 滋 <令和4年4月> 博士（医学）		専 任	教 授	中井 滋 <令和4年4月> 博士（医学）		専 任	教 授	中井 滋 <令和4年4月> 博士（医学）		専 任	教 授	中井 滋 <令和4年4月> 博士（医学）	
		成人期疾病論 I 卒業研究				成人期疾病論 I 卒業研究				成人期疾病論 I 卒業研究				成人期疾病論 I 卒業研究	
専 任	准 教 授	北村 真弓 <平成31年4月> 修士（健康科学）		専 任	准 教 授	北村 真弓 <平成31年4月> 修士（健康科学）		専 任	准 教 授	北村 真弓 <平成31年4月> 修士（健康科学）		専 任	准 教 授	北村 真弓 <平成31年4月> 修士（健康科学）	
		基礎ゼミ 基礎看護学実習 I 在宅看護学概論 在宅看護学方法論※ 在宅看護学演習 生活环境方法論 在宅看護学実習 健康教育論 卒業研究				基礎ゼミ 基礎看護学実習 I 在宅看護学概論 在宅看護学方法論※ 在宅看護学演習 生活环境方法論 在宅看護学実習 健康教育論 卒業研究				基礎ゼミ 基礎看護学実習 I 在宅看護学概論 在宅看護学方法論※ 在宅看護学演習 生活环境方法論 在宅看護学実習 健康教育論 卒業研究				基礎ゼミ 基礎看護学実習 I 在宅看護学概論 在宅看護学方法論※ 在宅看護学演習 生活環境方法論 在宅看護学実習 健康教育論 卒業研究	
専 任	准 教 授	盛田 麻巳子 <平成31年4月> 修士（看護学）		専 任	准 教 授			専 任	准 教 授			専 任	准 教 授		
		人体機能学※ 看護のための病態生理 基礎ゼミ 成人がん・難病・ターミナル看 護方論 成人看護学演習 看護研究方法論※ 成人看護学実習（セルフケア） 卒業研究													
専 任	准 教 授	近藤 千春 <平成31年4月> 修士（体育学）		専 任	准 教 授	近藤 千春 <平成31年4月> 修士（体育学）		専 任	准 教 授	近藤 千春 <平成31年4月> 修士（体育学）		専 任	准 教 授	近藤 千春 <平成31年4月> 修士（体育学）	
		精神看護学概論 基礎ゼミ 精神保健看護論 家族と看護※ 基礎看護学実習 II 精神看護学実習 統合実習 卒業研究				精神看護学概論 基礎ゼミ 精神保健看護論 家族と看護※ 基礎看護学実習 II 精神看護学実習 統合実習 卒業研究				精神看護学概論 基礎ゼミ 精神保健看護論 家族と看護※ 基礎看護学実習 II 精神看護学実習 統合実習 卒業研究				精神看護学概論 基礎ゼミ 精神保健看護論 家族と看護※ 基礎看護学実習 II 精神看護学実習 統合実習 卒業研究	
専 任	准 教 授	皆川 敦子 <平成31年4月> 修士（学術）		専 任	准 教 授	皆川 敦子 <平成31年4月> 修士（学術）		専 任	准 教 授	皆川 敦子 <平成31年4月> 修士（学術）		専 任	准 教 授	皆川 敦子 <平成31年4月> 修士（学術）	
		対人コミュニケーション 基本看護技術 I 基本看護技術 II 看護過程展開論 I 基礎ゼミ 基礎看護学実習 I 看護過程展開論 II 基礎看護学実習 II 統合実習 卒業研究				対人コミュニケーション 基本看護技術 I 基本看護技術 II 看護過程展開論 I 基礎ゼミ 基礎看護学実習 I 看護過程展開論 II 基礎看護学実習 II 統合実習 卒業研究				対人コミュニケーション 基本看護技術 I 基本看護技術 II 看護過程展開論 I 基礎ゼミ 基礎看護学実習 I 看護過程展開論 II 基礎看護学実習 II 統合実習 卒業研究				対人コミュニケーション 基本看護技術 I 基本看護技術 II 看護過程展開論 I 基礎ゼミ 基礎看護学実習 I 看護過程展開論 II 基礎看護学実習 II 統合実習 卒業研究	

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名	
専 准教 授	田崎 あゆみ <平成31年4月> 修士(看護学)	専 准教 授	田崎 あゆみ <平成31年4月> 修士(看護学)	専 准教 授	田崎 あゆみ <平成31年4月> 修士(看護学)	専 准教 授	田崎 あゆみ <平成31年4月> 修士(看護学)	専 准教 授	朝居(城) 朋子 <平成31年4月> 修士(法学)	専 准教 授	朝居(城) 朋子 <平成31年4月> 修士(法学)
専 准教 授	基礎ゼミ 小児看護学概論 基礎看護学実習Ⅱ 成長発達保健論※ 小児実践看護Ⅱ 小児看護学実習 統合実習 卒業研究	専 准教 授	基礎ゼミ 小児看護学概論 基礎看護学実習Ⅱ 成長発達保健論※ 小児実践看護Ⅱ 小児看護学実習 統合実習 卒業研究	専 准教 授	基礎ゼミ 小児看護学概論 在宅看護学方法論 基礎看護学実習Ⅱ 成長発達保健論※ 小児実践看護Ⅱ 小児看護学実習 統合実習 卒業研究	専 准教 授	基礎ゼミ 小児看護学概論 在宅看護学方法論 基礎看護学実習Ⅱ 成長発達保健論※ リハビリテーション看護 小児実践看護Ⅱ 小児看護学実習 統合実習 卒業研究	専 准教 授	朝居(城) 朋子 <平成31年4月> 修士(法学)	専 准教 授	日本国憲法 対人コミュニケーション 国際医学概論 医療関係法規 基礎ゼミ 異文化看護概論 小児実践看護Ⅰ 卒業研究
専 准教 授	村井 はるか <令和4年4月> 修士(ソーシャルワーカー)	専 准教 授	村井 はるか <令和4年4月> 修士(ソーシャルワーカー)	専 准教 授	村井 はるか <令和4年4月> 修士(ソーシャルワーカー)	専 准教 授	村井 はるか <令和4年4月> 修士(ソーシャルワーカー)	専 准教 授	服部 しのぶ <令和4年4月> M.A in Applied Linguistics	専 准教 授	服部 しのぶ <令和4年4月> M.A in Applied Linguistics
専 准教 授	基礎ゼミ 看護英語Ⅱ 卒業研究	専 准教 授	基礎ゼミ 看護英語Ⅱ 卒業研究	専 准教 授	基礎ゼミ 看護英語Ⅱ 卒業研究	専 准教 授	基礎ゼミ 看護英語Ⅱ 卒業研究	専 准教 授	基礎ゼミ 看護英語Ⅱ 卒業研究	専 准教 授	基礎ゼミ 看護英語Ⅱ 卒業研究
専 准教 授		専 准教 授	波速 重紀子 <平成31年4月> 修士(看護学) 博士(保健学)	専 准教 授	波速 重紀子 <平成31年4月> 修士(看護学) 博士(保健学)	専 准教 授	波速 重紀子 <平成31年4月> 修士(看護学) 博士(保健学)	専 准教 授	佐藤 優光 <令和2年4月> 博士(医学)	専 准教 授	佐藤 優光 <令和2年4月> 博士(医学)
		専 准教 授	基礎看護技術Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 看護過程開拓Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ		基礎看護技術Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 看護過程開拓Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ	専 准教 授	対人コミュニケーション 基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ 看護過程開拓Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ	専 准教 授	成人期疾病論Ⅲ	専 准教 授	成人期疾病論Ⅲ
		専 准教 授				専 准教 授		専 准教 授	加藤 雅美 <令和2年4月> 修士(看護学)	専 准教 授	加藤 雅美 <令和2年4月> 修士(看護学)
		専 准教 授				専 准教 授	基礎ゼミ 成人がん・難病・ターミナル看護方法論	専 准教 授	宮本 美穂 <平成31年4月> 博士(看護学) 修士(看護学)	専 准教 授	宮本 美穂 <平成31年4月> 博士(看護学) 修士(看護学)
専 講師	宮本 美穂 <平成31年4月> 博士(看護学) 修士(看護学)	専 准教 授	宮本 美穂 <平成31年4月> 博士(看護学) 修士(看護学)	専 准教 授	基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 公衆衛生看護実践論 公衆衛生看護援助方法論 地域ケアシステム論 健康教育論 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 統合実習 公衆衛生看護学実習Ⅱ 卒業研究	専 准教 授	基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 公衆衛生看護実践論Ⅰ 公衆衛生看護実践論Ⅱ 公衆衛生看護援助方法論 地域診断論 地域ケアシステム論 健康教育論 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 統合実習 公衆衛生看護学実習Ⅱ 卒業研究	専 准教 授	宮本 美穂 <平成31年4月> 博士(看護学) 修士(看護学)	専 准教 授	基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 公衆衛生看護実践論Ⅰ 公衆衛生看護実践論Ⅱ 公衆衛生看護援助方法論 地域診断論 地域ケアシステム論 健康教育論 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 統合実習 公衆衛生看護学実習Ⅱ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名		
専	講師	岡島 規子 <平成31年4月> 修士 (看護学)		専	講師	岡島 規子 <平成31年4月> 修士 (看護学)		専	講師	岡島 規子 <平成31年4月> 修士 (看護学)		
		基礎看護技術 I 基礎看護技術 II 看護過程展開論 I 基礎看護学実習 I 基礎ゼミ 看護過程展開論 II 基礎看護学実習 II 統合実習 卒業研究				対人コミュニケーション 基礎看護技術 I 基礎看護技術 II 看護過程展開論 I 基礎看護学実習 I 基礎ゼミ 看護過程展開論 II 基礎看護学実習 II 統合実習 卒業研究					対人コミュニケーション 基礎看護技術 I 基礎看護技術 II 看護過程展開論 I 基礎看護学実習 I 基礎ゼミ 看護過程展開論 II 基礎看護学実習 II 統合実習 卒業研究	
専	講師	川上 友美 <平成31年4月> 修士 (学術)		専	講師	川上 友美 <平成31年4月> 修士 (学術)		専	講師	川上 友美 <平成31年4月> 修士 (学術)		
		基礎ゼミ 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 在宅看護学方法論※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 統合実習 卒業研究				基礎ゼミ 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 在宅看護学方法論※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 統合実習 卒業研究					基礎ゼミ 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 生活環境方法論※ 在宅看護学演習 在宅看護学実習 統合実習 卒業研究	
専	講師	田辺 幸子 <平成31年4月> 博士 (看護学) 修士 (公衆衛生学)		専	講師	田辺 幸子 <平成31年4月> 博士 (看護学) (公衆衛生学)						
		基礎ゼミ 基礎看護学実習 I 在宅看護学演習 国際看護 公衆衛生看護援助方法論 在宅看護学実習 統合実習 災害看護 卒業研究 異文化看護概論				基礎ゼミ 基礎看護学実習士 在宅看護学演習 国際看護 公衆衛生看護援助方法論 在宅看護学実習 統合実習 卒業研究 異文化看護概論						
専	講師	LENGUYEN KIM NGAN <平成31年4月> 修士 (人間環境学)		専	講師	LENGUYEN KIM NGAN <平成31年4月> 修士 (人間環境学)		専	講師	LENGUYEN KIM NGAN <平成31年4月> 修士 (人間環境学)		
		基礎看護学実習 I 基礎ゼミ 基礎看護学実習 II 統合実習 卒業研究				対人コミュニケーション 基礎看護学実習 I 基礎ゼミ 基礎看護学実習 II 統合実習 卒業研究					対人コミュニケーション 看護学概論 基礎看護学実習 I 基礎ゼミ 看護過程展開論 II 基礎看護学実習 II 統合実習 卒業研究	
専	講師	曾我 武史 <平成31年4月> 衛生看護学士		専	講師	曾我 武史 <平成31年4月> 衛生看護学士		専	講師	曾我 武史 <平成31年4月> 修士 (看護学)		
		基礎ゼミ 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 成長発達保健論※ 小児実践看護 I 小児実践看護 II 小児看護学実習 統合実習 卒業研究				基礎ゼミ 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 成長発達保健論※ 小児実践看護 I 小児実践看護 II 小児看護学実習 統合実習 卒業研究					基礎ゼミ 基礎看護学実習 I 成長発達保健論 ※ 小児実践看護 I 小児実践看護 II 小児看護学実習 統合実習 卒業研究	
専	講師	明石(土屋) 優美 <平成31年4月> 学士 (保健衛生学)		専	講師	明石(土屋) 優美 <平成31年4月> 学士 (保健衛生学)		専	講師	明石(土屋) 優美 <平成31年4月> 学士 (保健衛生学)		
		基礎ゼミ 診断のための検査学 卒業研究				対人コミュニケーション 基礎ゼミ 診断のための検査学 卒業研究					免疫学 対人コミュニケーション 基礎ゼミ 診断のための検査学 卒業研究	
専	講師	伊藤 桜子 <平成31年4月> 修士 (健康心理学)		専	講師	伊藤 桜子 <平成31年4月> 修士 (健康心理学)						
		心理学 人間行動科学				心理学 人間行動科学						
専	講師	清水 純 <平成31年4月> 修士 (看護学)		専	講師	清水 純 <平成31年4月> 修士 (看護学)		専	准教授	清水 純 <平成31年4月> 修士 (看護学)		
		基礎ゼミ 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 精神看護学方法論※ 精神看護学実習 統合実習 卒業研究				基礎ゼミ 対人コミュニケーション 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 精神看護学方法論※ 精神看護学実習 統合実習 卒業研究					基礎ゼミ 対人コミュニケーション 基础看護学実習士 基础看護学実習士 精神看護学方法論 II 精神看護学実習 精神看護学実習 統合実習 卒業研究	

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名		
専	講師	加藤 勝子 <平成31年4月> 修士(看護学)		専	講師	加藤 勝子 <平成31年4月> 修士(看護学)		専	講師	加藤 勝子 <平成31年4月> 修士(看護学)			専	講師	織田 千賀子 <平成31年4月> 修士(看護学)	
専	講師	基礎ゼミ 健康教育論 公衆衛生看護援助方法論 公衆衛生看護実践論Ⅱ 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 統合実習 公衆衛生看護学実習Ⅱ 卒業研究		専	講師	基礎ゼミ 健康教育論 公衆衛生看護援助方法論 公衆衛生看護実践論Ⅱ 公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護学実習Ⅰ 統合実習 公衆衛生看護学実習Ⅱ 卒業研究		専	講師	基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ コンプリメンタリーセラピー 家族と看護 成人がん・難病・ターミナル看 護方法論 成人看護学実習(クリティカル・周手術) 成人看護学実習(セルフケア) 統合実習 卒業研究		専	講師	織田 千賀子 <平成31年4月> 修士(看護学)		
専	講師	織田 千賀子 <平成31年4月> 修士(看護学)		専	講師	基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ コンプリメンタリーセラピー 家族と看護 成人がん・難病・ターミナル看 護方法論 成人看護学実習(クリティカル・周手術) 成人看護学実習(セルフケア) 成人看護学演習 統合実習 卒業研究		専	講師	基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ コンプリメンタリーセラピー 家族と看護 成人がん・難病・ターミナル看 護方法論 成人看護学実習(クリティカル・周手術) 成人看護学実習(セルフケア) 成人看護学演習 統合実習 卒業研究		専	講師	高田 佳代子 <令和4年4月> 学士(医学)		
専	講師	基礎ゼミ 成人期疾病論Ⅲ 卒業研究		専	講師			専	講師			専	講師	高田 佳代子 <令和4年4月> 学士(医学)		
専	講師			専	講師			専	講師			専	講師	浅岡 梢子 <令和2年4月> 修士(看護学)		
専	講師			専	講師			専	講師	基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人がん・難病・ターミナル看 護方法論 成人セルフケア方法論		専	講師	浅岡 梢子 <令和2年4月> 修士(看護学)		
専	講師			専	講師			専	講師			専	講師	基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人がん・難病・ターミナル看 護方法論 成人セルフケア方法論		
専	講師			専	講師			専	講師			専	講師	尾形 寿郎 <平成31年4月> 修士(保健学) 博士(保健学)		
専	講師			専	講師			専	講師			専	講師	自然科学 基礎ゼミ 看護のための病態生理		
専	講師			専	講師			専	講師			専	講師			
専	助教	梅村 廉子 <平成31年4月> 修士(保健学)		専	助教	梅村 廉子 <平成31年4月> 修士(保健学)		専	助教	梅村 廉子 <平成31年4月> 修士(保健学)		専	助教	梅村 廉子 <平成31年4月> 修士(保健学)		
専	助教	基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ 看護過程展開論Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 看護過程展開論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究		専	助教	対人コミュニケーション 基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ 看護過程展開論Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 看護過程展開論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究		専	助教	対人コミュニケーション 基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ 看護過程展開論Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 看護過程展開論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究		専	助教	伊藤 美保 <令和3年4月> 修士(教育ファシリテーション)		
専	助教			専	助教			専	助教			専	助教	基礎ゼミ		
専	助教			専	助教			専	助教			専	助教	梅村 廉子 <平成31年4月> 修士(保健学)		
専	助教			専	助教			専	助教			専	助教	対人コミュニケーション 基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ 看護過程展開論Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 看護過程展開論Ⅱ 基礎看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究		

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏　名 (年　齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 助教		荒堀 裕子 <平成31年4月> 修士 (看護学)
		老年看護学概論※ 基礎看護学実習 I 基礎ゼミ 家族と看護※ 基礎看護学実習 II 老年看護学援助論 老年看護実践方法論 老年看護学実習 I 老年看護学実習 II 統合実習 卒業研究
専 助教		石龜 敬子 <平成31年4月> 修士 (看護学)
		老年看護学概論※ 基礎看護学実習 I 基礎ゼミ 家族と看護※ 基礎看護学実習 II 老年看護学援助論 老年看護実践方法論 老年看護学実習 I 老年看護学実習 II リハビリテーション看護 統合実習 卒業研究
専 助教		清水 三紀子 <平成31年4月> 修士 (看護学)
		基礎看護学実習 I 基礎ゼミ 基礎看護学実習 II 母性セルフケア看護※ 母性看護学実習 統合実習 卒業研究
専 助教		倉田 亮子 <平成31年4月> 修士 (看護学)
		基礎ゼミ 基礎看護学実習 I 成人セルフケア方法論 基礎看護学実習 II 成人看護学演習 成人看護学実習 (クリティカル・周手術) 成人看護学実習 (セルフケア) 統合実習 卒業研究
専 助教		近藤 彰 <平成31年4月> 修士 (保健学)
		基礎看護学実習 I 基礎ゼミ 基礎看護学実習 II 成人クリティカル・周手術期看護方法論 成人看護学演習 成人看護学実習 (クリティカル・周手術) 結合実習 卒業研究
専 助教		影浦 直子 <平成31年4月> 修士 (看護学)
		基礎看護学実習 I 基礎ゼミ 基礎看護学実習 II 家族と看護※ 成人看護学演習 成人看護学実習 (セルフケア) 成人看護学実習 (クリティカル・周手術) 統合実習 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 助教		荒堀 裕子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		老年看護学概論※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 家族と看護※ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学援助論 老年看護実践方法論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合実習 卒業研究
専 助教		石龜 敬子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		老年看護学概論※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学援助論 老年看護実践方法論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ リハビリテーション看護 統合実習 卒業研究
専 助教		清水 三紀子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 母性セルフケア看護Ⅲ 母性看護学実習 統合実習 卒業研究
専 助教		倉田 亮子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅰ 成人セルフケア方法論 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学演習 成人看護学実習(クリティカル・周手術) 成人看護学実習(セルフケア) 統合実習 卒業研究
専 助教		近藤 彩 <平成31年4月> 修士(保健学)
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 成人クリティカル・周手術期 看護方法論 成人看護学演習 成人看護学実習(クリティカル・周手術) 統合実習 卒業研究
専 助教		影浦 直子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 家族と看護※ 成人看護学演習 成人看護学実習(セルフケア) 成人看護学実習(クリティカル・周手術) 統合実習 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専 助教		荒堀 裕子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		老年看護学概論※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 家族と看護※ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学援助論 老年看護実践方法論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 統合美留 卒業研究
専 助教		石龜 敬子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		老年看護学概論※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 家族と看護※ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学援助論 老年看護実践方法論 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ リハビリテーション看護 統合美留 卒業研究
専 講師		清水 三紀子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		対人コミュニケーション 基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 母性セルフケア看護Ⅱ 母性セルフケア看護Ⅲ 母性看護学実習 統合美留 卒業研究
専 助教		近藤 彰 <平成31年4月> 修士(保健学)
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 成人がん・難病・ターミナル看護方略論 成人クリティカル・周手術期看護方論 成人看護学演習 成人看護学実習(クリティカル・周手術) 統合実習 卒業研究
専 助教		影浦 直子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		基礎看護学実習Ⅰ 基礎ゼミ 基礎看護学実習Ⅱ 家族と看護※ 成人がん・難病・ターミナル看護方略論 成人セルフケア方法論 成人看護学演習 成人看護学実習(セルフケア) 成人看護学実習(クリティカル・周手術) 統合実習 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 <就任(予定)月年> 保有学位等
		担当授業科目名
専 助教		荒堀 裕子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		老年看護学概論※ 基礎看護学実習 I 基礎ゼミ 家族と看護※ 基礎看護学実習 II 老年看護学援助論 老年看護実践方法論 老年看護学実習 I 老年看護学実習 II 統合実習 卒業研究
専 助教		石龜 敬子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		老年看護学概論※ 基礎看護学実習 I 基礎ゼミ 家族と看護※ 基礎看護学実習 II 老年看護学援助論 老年看護実践方法論 老年看護学実習 I 老年看護学実習 II リハビリテーション看護 統合実習 卒業研究
専 助教	講師	清水 三紀子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		対人コミュニケーション 基礎看護学実習 I 基礎ゼミ 基礎看護学実習 II 母性セルフケア看護 II 母性セルフケア看護 III 母性看護学実習 統合実習 卒業研究
専 助教		近藤 彰 <平成31年4月> 修士(保健学)
		基礎看護学実習 I 基礎ゼミ 基礎看護学実習 II 成人がん・難病・ターミナル 看護方法論 成人クリティカル・周手術期 看護方法論 成人看護学演習 成人看護学実習 (クリティカル・周手術) 成人看護学実習 (セルフケア) 災害看護 統合実習 卒業研究
専 助教		影浦 直子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		対人コミュニケーション 基礎看護学実習 I 基礎ゼミ 基礎看護学実習 II 家族と看護※ 成人がん・難病・ターミナル 看護方法論 成人セルフケア方法論 成人看護学演習 成人看護学実習 (セルフケア) 成人看護学演習 (クリティカル・周手術) 統合実習 卒業研究

兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等		兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等		兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名	
専	助教	富田 元 <平成31年4月> 修士(看護学)		専	助教	富田 元 <平成31年4月> 修士(看護学)		専	助教	富田 元 <平成31年4月> 修士(看護学)	
		基礎看護学実習 I 基礎ゼミ 基礎看護学実習 II 精神看護学方法論※ 精神看護学実習 統合実習 卒業研究				基礎看護学実習 I 基礎ゼミ 基礎看護学実習 II 精神看護学方法論※ 精神看護学実習 統合実習 卒業研究				対人コミュニケーション 基礎看護学実習 I 基礎ゼミ 家族と看護 在宅看護学方法論 基礎看護学実習 II 精神看護学方法論※ 精神看護学実習 統合実習 卒業研究	
専	助教	杉浦 将人 <平成31年4月> 修士(看護学)		専	助教	杉浦 将人 <平成31年4月> 修士(看護学)		専	助教	杉浦 将人 <平成31年4月> 修士(看護学)	
		基礎ゼミ 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 成長発達保健論※ 小児実践看護 II 小児看護学実習 統合実習 卒業研究				基礎ゼミ 対人コミュニケーション 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 成長発達保健論※ 小児実践看護 II 小児看護学実習 統合実習 卒業研究				基礎ゼミ 対人コミュニケーション 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 成長発達保健論※ 小児実践看護 II 小児看護学実習 統合実習 卒業研究	
専	助教	廣瀬 大輔 <平成31年4月> 修士(看護学)		専	助教	廣瀬 大輔 <平成31年4月> 修士(看護学)		専	助教	廣瀬 大輔 <平成31年4月> 修士(看護学)	
		基礎看護学実習 I 基礎ゼミ 基本看護技術 I 基本看護技術 II 看護過程展開論 I 看護過程展開論 II 看護過程展開論 II 統合実習 卒業研究				対人コミュニケーション 基礎看護学実習 I 基礎ゼミ 基本看護技術 I 基本看護技術 II 看護過程展開論 I 基础看護学実習 II 看護過程展開論 II 統合実習 卒業研究				対人コミュニケーション 基礎看護学実習 I 基礎ゼミ 基本看護技術 I 基本看護技術 II 看護過程展開論 I 基础看護学実習 II 看護過程展開論 II 統合実習 卒業研究	
専	助教	伊藤 裕子 <平成31年4月> 修士(看護学)		専	助教	伊藤 裕子 <平成31年4月> 修士(看護学)		専	助教	伊藤 裕子 <平成31年4月> 修士(看護学)	
		基礎看護学実習 I 基礎ゼミ 基礎看護学実習 II 成人看護学演習 成人看護学実習(セルフケア) 成人看護学実習(クリティカル・周手術) 統合実習 卒業研究				基礎看護学実習 I 基礎ゼミ 基礎看護学実習 II 成人看護学演習 成人看護学実習(セルフケア) 成人看護学実習(クリティカル・周手術) 統合実習 卒業研究					
専	助教	金 チューアイ <平成31年4月> 修士(看護学) 修士(看護学)		専	助教	金 チューアイ <平成31年4月> 修士(看護学) 修士(看護学)		専	助教	金 チューアイ <平成31年4月> 修士(看護学) 修士(看護学)	
		基礎ゼミ 卒業研究				基礎ゼミ 卒業研究				基礎ゼミ 基礎看護学実習 II 看護研究方法 I 卒業研究	
専				専	助教	竹達 美紗子 <平成31年4月> 修士(看護学)		専	助教	竹達 美紗子 <平成31年4月> 修士(看護学)	
						基礎ゼミ 基礎看護学実習 I				基礎ゼミ 老年看護学概論 老年看護学援助論 老年看護学援助論 基础看護学実習 I 基础看護学実習 II	
専				専	助教	川村 真紀子 <平成31年4月> 修士(看護学)		専	助教	川村 真紀子 <平成31年4月> 修士(看護学)	
						対人コミュニケーション 基礎ゼミ 基本看護技術 I 基本看護技術 II 看護過程展開論 I 看護過程展開論 II 基础看護学実習 I				対人コミュニケーション 基礎ゼミ 基本看護技術 I 基本看護技術 II 看護過程展開論 I 看護過程展開論 II 基础看護学実習 I	
専				専	助教	福田由季佳 <平成31年4月> 修士(看護学)		専	助教	福田由季佳 <平成31年4月> 修士(看護学)	
						基礎ゼミ 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 成人がん・難病・ターミナル看護方法論				基礎ゼミ 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 成人セルフケア方法論 成人看護学演習 成人看護学実習(クリティカル・周手術) 成人看護学実習(セルフケア) 卒業研究	

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名													
兼任	教授	大橋 錦二 <平成31年4月> 博士(医学)		兼任	教授	大橋 錦二 <平成31年4月> 博士(医学)		兼任	教授	大橋 錦二 <平成31年4月> 博士(医学)		兼任	教授	大橋 錦二 <平成31年4月> 博士(医学)	
		栄養学				栄養学				栄養学				栄養学	
兼任	教授	齋藤 邦明 <平成31年4月> 医学博士		兼任	教授	齋藤 邦明 <平成31年4月> 医学博士		兼任	教授	齋藤 邦明 <平成31年4月> 医学博士		兼任	教授	齋藤 邦明 <平成31年4月> 医学博士	
		国際医学概論				国際医学概論				国際医学概論				国際医学概論	
兼任	教授	鈴木 康司 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	鈴木 康司 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	鈴木 康司 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	鈴木 康司 <令和2年4月> 博士(医学)	
		公衆衛生学				公衆衛生学				公衆衛生学				公衆衛生学	
兼任	教授	畠 忠善 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	畠 忠善 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	畠 忠善 <令和2年4月> 博士(医学)		兼任	教授	畠 忠善 <令和2年4月> 博士(医学)	
		小児期疾病論※				小児期疾病論※				小児期疾病論※				小児期疾病論※	
兼任	教授	鈴木 達也 <令和2年4月> 医学博士		兼任	教授	鈴木 達也 <令和2年4月> 医学博士		兼任	教授	鈴木 達也 <令和2年4月> 医学博士		兼任	教授	鈴木 達也 <令和2年4月> 医学博士	
		小児期疾病論※				小児期疾病論※				小児期疾病論※				小児期疾病論※	
兼任	教授	金平 蓮 <令和3年4月> 博士(工学) 修士(工学)		兼任	教授	金平 蓮 <令和3年4月> 博士(工学) 修士(工学)		兼任	教授	金平 蓮 <令和3年4月> 博士(工学) 修士(工学)		兼任	教授	金平 蓮 <令和3年4月> 博士(工学) 修士(工学)	
		中国語				中国語				中国語				中国語	
兼任	教授	小林 茂樹 <令和3年4月> 博士(医学)		兼任	教授	小林 茂樹 <令和3年4月> 博士(医学)		兼任	教授	小林 茂樹 <令和3年4月> 博士(医学)		兼任	教授	小林 茂樹 <令和3年4月> 博士(医学)	
		放射線医学				放射線医学				放射線医学				放射線医学	
兼任	教授	佐藤 労 <令和4年4月> 哲学博士		兼任	教授	佐藤 労 <令和4年4月> 哲学博士		兼任	教授	佐藤 労 <令和4年4月> 哲学博士		兼任	教授	佐藤 労 <令和4年4月> 哲学博士	
		生命倫理学				生命倫理学				生命倫理学				生命倫理学	
兼任	教授	米本 倉基 <平成31年4月> 博士(政策科学) 修士(経営学)		兼任	教授	米本 倉基 <平成31年4月> 博士(政策科学) 修士(経営学)		兼任	教授	米本 倉基 <平成31年4月> 博士(政策科学) 修士(経営学)		兼任	教授	米本 倉基 <平成31年4月> 博士(政策科学) 修士(経営学)	
		インターンシップ 経済学				インターンシップ 経済学				インターンシップ 経済学				インターンシップ 経済学	
兼任	教授	亀井 哲也 <平成31年4月> 博士(医学)		兼任	教授	亀井 哲也 <平成31年4月> 博士(医学)		兼任	教授	亀井 哲也 <平成31年4月> 博士(医学)		兼任	教授	亀井 哲也 <平成31年4月> 博士(医学)	
		情報機器の操作				情報機器の操作				情報機器の操作				情報機器の操作	
兼任	教授	日比谷 信 <令和4年4月> 博士(医学)		兼任	教授	日比谷 信 <令和4年4月> 博士(医学)		兼任	教授	日比谷 信 <令和4年4月> 博士(医学)		兼任	教授	日比谷 信 <令和4年4月> 博士(医学)	
		医用機器管理論				医用機器管理論				医用機器管理論				医用機器管理論	
														井平 雄 <令和2年4月> 博士(医学)	
														井平 雄 <令和2年4月> 博士(医学)	
														井平 雄 <令和2年4月> 博士(医学)	

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名	
兼任	准教授	堀内(後藤)ちとせ <令和2年4月> 修士(文学)		准教授	堀内(後藤)ちとせ <令和2年4月> <平成31年4月> 修士(文学)		准教授	堀内(後藤)ちとせ <令和2年4月> <平成31年4月> 修士(文学)		准教授	堀内(後藤)ちとせ <令和2年4月> <平成31年4月> 修士(文学)		准教授	堀内(後藤)ちとせ <令和2年4月> <平成31年4月> 修士(文学)	
		看護英語Ⅰ			英語 看護英語Ⅰ			英語 看護英語Ⅰ			英語 看護英語Ⅰ 英会話 看護英語Ⅱ			英語 看護英語Ⅰ 英会話 看護英語Ⅱ	
兼任	准教授	鈴木めぐみ <令和2年4月> 博士(リハビリテーション療法 学)		准教授	鈴木めぐみ <令和2年4月> 博士(リハビリテーション療 法学)		准教授	鈴木めぐみ <令和2年4月> 博士(リハビリテーション療 法学)		准教授	鈴木めぐみ <令和2年4月> 博士(リハビリテーション療 法学)		准教授	鈴木めぐみ <令和2年4月> 博士(リハビリテーション療 法学)	
		ポルトガル語			ポルトガル語			ポルトガル語			ポルトガル語			ポルトガル語	
兼任	准教授	武藤晃一 <令和3年4月> 修士(工学)		准教授	武藤晃一 <令和3年4月> 修士(工学)		准教授	武藤晃一 <令和3年4月> 修士(工学)		准教授	武藤晃一 <令和3年4月> 修士(工学)		准教授	武藤晃一 <令和3年4月> 修士(工学)	
		保健統計学演習			保健統計学演習			保健統計学演習			保健統計学演習			保健統計学演習	
兼任	准教授	西井一宏 <平成31年4月> 博士(医学)		准教授	西井一宏 <平成31年4月> 博士(医学)		准教授	西井一宏 <平成31年4月> 博士(医学)		准教授	西井一宏 <平成31年4月> 博士(医学)		准教授	西井一宏 <平成31年4月> 博士(医学)	
		人体形態学			人体形態学			人体形態学			人体形態学			人体形態学	

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名		
								大橋 篤 <令和2年4月> 博士(医学)		
								国際医学概論		
								大塚 圭 <令和2年4月> 博士(医学)		
								国際医学概論		
								大河内 智 <令和3年4月> 博士(医学)		
								精神疾病論		
兼担	講師	高田 佳代子 <平成31年4月> 学士(医学)	兼担	講師	高田 佳代子 <平成31年4月> <令和3年4月> 学士(医学)			高田 佳代子 <平成31年4月> <令和3年4月> 学士(医学)		
		基礎ゼミ 成人期疾病論Ⅲ 卒業研究			基礎ゼミ 成人期疾病論Ⅲ			基礎ゼミ 成人期疾病論Ⅲ		
兼担	講師	江崎幸生 <令和3年4月> 博士(医学)	兼担	講師	江崎幸生 <令和3年4月> 博士(医学)			江崎幸生 <令和3年4月> 博士(医学)		
		精神疾病論			精神疾病論			精神疾病論		
兼担	講師	今村誠司 <平成31年4月> 博士(医学)	兼担	講師	今村誠司 <平成31年4月> 博士(医学)			今村誠司 <平成31年4月> 博士(医学)		
		微生物学			微生物学			微生物学		
兼担	講師	金子千之 <平成31年4月> 博士(医学)	兼担	講師	金子千之 <平成31年4月> 博士(医学)			金子千之 <平成31年4月> 博士(医学)		
		病理学			病理学			病理学		
兼担	講師	加賀順子 <令和2年4月> 修士(医療・福祉マネジメント 学)	兼担	講師	加賀順子 <令和2年4月> 修士(医療・福祉マネジメン ト学)			加賀順子 <令和2年4月> 修士(医療・福祉マネジメント 学)		
		社会福祉論※ 社会保障論※			社会福祉論※ 社会保障論※			社会福祉論※ 社会保障論※		
兼担	講師	川戸美由紀 <令和2年4月> 博士(医学) 修士(保健学)	兼担	講師	川戸美由紀 <令和2年4月> 博士(医学) 修士(保健学)			川戸美由紀 <令和2年4月> 博士(医学) 修士(保健学)		
		疫学			疫学			疫学		
兼担	講師	酒井博崇 <令和2年4月> 修士(看護学)	兼担	講師	酒井博崇 <令和2年4月> <平成31年4月> 修士(看護学)			酒井博崇 <令和2年4月> <平成31年4月> 修士(看護学)		
		看護過程展開論Ⅱ			看護のための病理生理 看護過程展開論Ⅱ			看護のための病理生理 看護過程展開論Ⅱ		
					三浦 審二 <平成31年4月> 博士(理学)			三浦 審二 <平成31年4月> 博士(理学)		
					生命科学			生命科学 自然科学		
					藤垣 英綱 <令和2年4月> 博士(医学)			藤垣 英綱 <令和2年4月> 博士(医学)		
					国際医学概論			国際医学概論		

兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏　名 (年　齢) <就任（予定）年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	木戸正幸 <平成31年4月> 修士（文学）
		論理学
兼任	教授	山本恵申 <平成31年4月> 医学博士
		免疫学
兼任	教授	仙田典保 <平成31年4月> 学士（漢字）
		漢理学
兼任	教授	高橋　昇 <令和2年4月> 学士（漢字）
		保健医療福祉行政論Ⅱ

事務・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	木戸正幸 <平成31年4月> 修士(文学)
		論理学
兼任	教授	山本恵申 <平成31年4月> 医学博士
		免疫学
兼任	教授	仙田典保 <平成31年4月> 学士(薬学)
		薬理学
兼任	教授	高橋 异 <令和2年4月> 学士(薬学)
		保健医療福祉行政論Ⅱ
兼任	教授	眞野 恵子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		看護学概論

兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	金澤 直樹 <令和2年4月> 博士(障害科学)
		人体形態学
兼任	助教	藤井 充輔 <令和2年4月> 博士(医療技術学)
		疫学
兼任	教授	木戸正幸 <平成31年4月> 修士(文学)
		論理学
兼任	教授	山本恵申 <平成31年4月> 博士(医学)
		免疫学
兼任	教授	仙田典保 <平成31年4月> 学士(薬学)
		薬理学
兼任	教授	高橋 昇 <令和2年4月> 学士(薬学)
		保健医療福祉行政論Ⅱ
兼任	教授	眞野 審子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		看護学概論
兼任	教授	磯村 敏 <令和2年4月> 博士(医学)
		精神保健看護論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月年> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	金澤 直樹 <令和2年4月> 博士(障害科学)
		人体形態学
兼任	助教	林 嘉 <令和3年4月>
		精神疾病論
兼任	助教	中野 莉 <令和3年4月>
		精神疾病論
兼任	教授	木戸正幸 <平成31年4月> 修士(文学)
		論理学
兼任	教授	仙田典保 <平成31年4月> 学士(薬学)
		薬理学
兼任	教授	高橋 昇 <令和2年4月> 学士(薬学)
		保健医療福祉行政論Ⅱ
兼任	教授	眞野 審子 <平成31年4月> 修士(看護学)
		看護学概論
兼任	教授	磯村 級 <令和2年4月> 博士(医学)
		精神保健看護論
兼任	教授	渡辺 二治 <平成31年4月> 博士(医学)
		人体機能学※
兼任	教授	久保 明達 <平成31年4月> 博士(理学) 修士(理学)
		数学
兼任	教授	川越 市郎 <令和3年4月> 博士(医学)
		毒性セルフケア看護Ⅱ

兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏　名 (年　齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松村美奈 <平成31年4月> 博士(日本文化)
		文学
兼任	講師	三谷竜彦 <平成31年4月> 博士(文学)
		哲学
兼任	講師	Christopher Richard Donaldson <平成31年4月> 修士(応用言語学)
		英語 英会話
兼任	講師	Laurence Miles Hislop <平成31年4月> BA History (新国)
		英語 英会話
兼任	講師	三木 誠 <平成31年4月> 修士(文学)
		文化人類学
兼任	講師	黒坂美智代 <令和2年4月> 短期大学卒
		手話
兼任	講師	矢島洋子 <令和2年4月> 学術修士
		社会学
兼任	講師	渥美広之 <令和2年4月> 学士(社会福祉学)
		保健医療福祉行政論Ⅰ
兼任	講師	城森(森川) 泉 <令和4年4月> 博士(リハビリテーション学)
		音楽療法

兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	松村美奈 <平成31年4月> 博士(日本文化)
		文学
兼任	講師	三谷竜彦 <平成31年4月> 博士(文学)
		哲学
兼任	講師	Christopher Richard Donaldson <平成31年4月> <令和2年4月> 修士(应用言語学)
		英語 英会話
兼任	講師	Laurence Miles Hislop <平成31年4月> <令和2年4月> BA History (新国)
		英語 英会話
兼任	講師	三木 誠 <平成31年4月> 修士(文学)
		文化人類学
兼任	講師	黒坂美智代 <令和2年4月> 短期大学卒
		手話
兼任	講師	矢島洋子 <令和2年4月> 学術修士
		社会学
兼任	講師	渥美広之 <令和2年4月> 学士(社会福祉学)
		保健医療福祉行政論Ⅰ
兼任	講師	城森(森川) 泉 <令和4年4月> 博士(リハビリテーション 学)
		音楽療法

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	PLANTE STEEVE <令和2年4月>
		英語 英会話
兼任	准教授	壮岡 勝美 <令和2年4月> 学士(工学)
		国際医学概論
兼任	講師	三谷竜彦 <平成31年4月> 博士(文学)
		哲学
兼任	講師	Laurence Miles Hislop <平成31年4月> <令和2年4月> BA History (新国)
		英語 英会話
兼任	講師	三木 誠 <平成31年4月> 修士(文学)
		文化人類学
兼任	講師	黒坂美智代 <令和2年4月> 短期大学卒
		手話
兼任	講師	矢島洋子 <令和2年4月> 学術修士
		社会学
兼任	講師	渥美広之 <令和2年4月> 学士(社会福祉学)
		保健医療福祉行政論Ⅰ
兼任	講師	城森(森川) 泉 <令和4年4月> 博士(リハビリテーション学)
		音楽療法

兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <年齢> <就任(予定)月年> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	沢崎 健太 <令和3年4月> 博士(医学)
		コンプリメンタリーセラピー
兼任	准教授	PLANTE STEEVE <令和2年4月>
		英語 英会話
兼任	准教授	辻岡 勝美 <令和2年4月> 修士(工学)
		国際医学概論
兼任	講師	三谷竜彦 <平成31年4月> 博士(文学)
		哲学
兼任	講師	Laurence Miles Hislop <平成21年4月> <令和2年4月> BA History (新国)
		英語 英会話
兼任	講師	三木 誠 <平成31年4月> 修士(文学)
		文化人類学
兼任	講師	黒板美智代 <令和2年4月> 短期大学卒
		手話
兼任	講師	矢島洋子 <令和2年4月> 学術修士
		社会学
兼任	講師	渥美広之 <令和2年4月> 修士(社会福祉学)
		保健医療福祉行政論Ⅰ
兼任	講師	城森(森川) 泉 <令和4年4月> 博士(リハビリテーション 学)
		音楽療法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名	
兼任	講師	伊藤 惟 <令和2年4月> 修士(文学)		兼任	講師	伊藤 惟 <令和2年4月> 修士(文学)		兼任	講師	伊藤 惟 <令和2年4月> 修士(文学)		兼任	講師	伊藤 惟 <令和2年4月> 修士(文学)	
		ドイツ語				ドイツ語				ドイツ語				ドイツ語	
兼任	講師	勝間田明子 <平成31年4月> 修士(教育学)		兼任	講師	勝間田明子 <平成31年4月> 修士(教育学)		兼任	講師	勝間田明子 <平成31年4月> 修士(教育学)		兼任	講師	勝間田明子 <平成31年4月> 修士(教育学)	
		教育学				教育学				教育学				教育学	
兼任	講師	福本由美子 <令和4年4月> 修士(看護学)		兼任	講師	福本由美子 <令和4年4月> 修士(看護学)		兼任	講師	福本由美子 <令和4年4月> 修士(看護学)				福本由美子 <令和4年4月> 修士(看護学)	
		看護と安全				看護と安全				看護と安全				看護と安全	
兼任	講師	桂華(宮澤) 麻希 <平成31年4月> 修士(教育学)		兼任	講師	渡口 紀子 <平成31年4月> 修士(看護学)		兼任	講師	渡口 紀子 <平成31年4月> 修士(看護学)		兼任	講師	渡口 紀子 <平成31年4月> 修士(看護学)	
		スポーツ・健康科学				看護学概論				看護学概論				看護学概論	
兼任	講師			兼任	講師	松下 寛代 <平成31年4月>		兼任	講師	松下 寛代 <平成31年4月>		兼任	講師	松下 寛代 <平成31年4月>	
						看護学概論 在宅看護学概論				看護学概論 在宅看護学概論				看護学概論 在宅看護学概論	
兼任	講師			兼任	講師	尾形栄士郎 <平成31年4月> 修士(保健学) 博士(保健学)		兼任	講師	尾形栄士郎 <平成31年4月> 修士(保健学) 博士(保健学)		兼任	講師	尾形栄士郎 <平成31年4月> 修士(保健学) 博士(保健学)	
						吉田科学 基礎ゼミ 看護のための病理生理 国際医学概論				吉田科学 基礎ゼミ 看護のための病理生理 国際医学概論				吉田科学 基礎ゼミ 看護のための病理生理 国際医学概論	
兼任	講師			兼任	講師	酒井 琴子 <令和2年4月>		兼任	講師	酒井 琴子 <令和2年4月>		兼任	講師	酒井 琴子 <令和2年4月>	
						老年看護学援助論				老年看護学援助論				老年看護学援助論	
兼任	講師			兼任	講師	伊藤 あゆみ <令和2年4月> 学士(看護学)		兼任	講師	伊藤 あゆみ <令和2年4月> 学士(看護学)		兼任	講師	伊藤 あゆみ <令和2年4月> 学士(看護学)	
						成人セルフケア方法論				成人セルフケア方法論				成人セルフケア方法論	
兼任	講師			兼任	講師	伊藤 秀樹 <令和2年4月>		兼任	講師	伊藤 秀樹 <令和2年4月>				伊藤 秀樹 <令和2年4月>	
						社会福祉論				社会福祉論				社会福祉論	
兼任	講師			兼任	講師	岡本 審 <令和2年4月> 学士(医学)				岡本 審 <令和2年4月> 学士(医学)				岡本 審 <令和2年4月> 学士(医学)	
						小児期疾病論				小児期疾病論				小児期疾病論	
兼任	講師			兼任	講師	加藤 えり那 <令和2年4月> 学士(医学)				加藤 えり那 <令和2年4月> 学士(医学)				加藤 えり那 <令和2年4月> 学士(医学)	
						小児期疾患論				小児期疾患論				小児期疾患論	
兼任	講師			兼任	講師	宮坂 ヘジーナ <令和2年4月> 修士(教育学)				宮坂 ヘジーナ <令和2年4月> 修士(教育学)				宮坂 ヘジーナ <令和2年4月> 修士(教育学)	
						ポルトガル語				ポルトガル語				ポルトガル語	

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月年> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	浦野 恵 <平成31年4月> 学士(看護学)
		スポーツ・健康科学
兼任	助教	加藤 吉朗 <平成31年4月> 学士(看護学)
		対人コミュニケーション 基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ
兼任	助教	馬場 ひかる <平成31年4月> 学士(看護学)
		対人コミュニケーション 基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ
兼任	助教	藤田 可那子 <平成31年4月> 学士(看護学)
		対人コミュニケーション 基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ
兼任	助教	浅野 亮 <平成31年4月>
		対人コミュニケーション 基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ
兼任	助教	黒田 健太 <平成31年4月>
		基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ
兼任	助教	中村 友香 <平成31年4月> 学士(看護学)
		基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ
兼任	助教	中田 誠乃 <平成31年4月> 学士(看護学)
		基本看護技術Ⅰ
兼任	助教	天野 千美 <平成31年4月> 学士(看護学)
		基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ
兼任	助教	大飼 裕美 <平成31年4月>
		基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ
兼任	助教	井上 泰津樹 <平成31年4月> 学士(看護学)
		基本看護技術Ⅰ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名	
				兼任	助教	大見 亜理砂 <平成31年4月> 基本看護技術Ⅱ					
				兼任	助教	岡村 英由 <平成31年4月> 基本看護技術Ⅱ					
				兼任	助教	萩野 宏美 <平成31年4月> 学士(看護学) 基本看護技術Ⅰ					
							伊藤 栗 <令和2年4月> 学士(看護学)	兼任	助教	福垣 鮎美 <令和2年4月> 基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ 看護過程展開論Ⅱ	
								兼任	助教	堺沢 剑 <令和2年4月> 修士(看護学)	
								兼任	助教	奥田 真衣 <令和2年4月> 学士(看護学)	
								兼任	助教	老年看護学援助論	
								兼任	助教	加藤まり <令和2年4月> 修士(看護学)	
								兼任	助教	公衆衛生看護実践論Ⅱ	
								兼任	助教	豊谷 夏海 <令和2年4月> 学士(看護学)	
								兼任	助教	基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ 看護過程展開論Ⅱ	
								兼任	助教	吉井 美穂 <令和2年4月> 学士(看護学)	
								兼任	助教	成人期疾病論Ⅲ	
								兼任	助教	久野 真里奈 <令和2年4月> 学士(看護学)	
								兼任	助教	基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ 対人コミュニケーション 成人看護学演習	
								兼任	助教	近藤 沙弥 <令和2年4月> 学士(看護学)	
								兼任	助教	基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ 対人コミュニケーション	
								兼任	助教	佐藤 久恵 <令和2年4月> 学士(看護学)	
								兼任	助教	老年看護学援助論	
								兼任	助教	佐藤 康平 <令和2年4月> 学士(看護学)	
								兼任	助教	老年看護学援助論	

兼任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	鈴木 祐子 <令和2年4月> 学士(看護学)
		成人がん・難病・ターミナル 看護方法論
兼任	助教	齋藤 史明 <令和2年4月> 修士(看護学)
		看護過程跟跡論 II
兼任	助教	齋藤 祐也 <令和2年4月> 学士(看護学)
		基本看護技術 I 基本看護技術 II
兼任	助教	安藤 和希 <令和3年4月> 学士(看護学)
		母性セルフケア看護III
兼任	助教	井上 紗奈 <令和3年4月>
		小児実践看護II
兼任	助教	美保 駿子 <令和3年4月> 学士(看護学)
		基本看護技術 I 基本看護技術 II
兼任	助教	横井 由貴 <令和3年4月> 学士(看護学)
		成人看護学演習
兼任	助教	横井 美 <令和3年4月>
		母性セルフケア看護III
兼任	助教	河村 愛 <令和3年4月>
		コンプリメンタリーセラピー
兼任	助教	河邊 真之介 <令和3年4月> 学士(看護学)
		成人看護学演習
兼任	助教	垣内 審葉 <令和3年4月> 学士(看護学)
		成人看護学演習
兼任	助教	横笛 優香 <令和3年4月> 学士(看護学)
		小児実践看護II
兼任	助教	金岡 哲二 <令和3年4月> 修士(教育学)
		老年看護学授助論

事住・ 兼担・ 兼任の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月年> 保有学位等
		担当授業科目名

事務・ 兼担・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)月年> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助手	杉原 敏士 <令和2年4月> 修士(健康科学)
		スポーツ・健康科学

兼任・ 兼担 の別	職名	氏 名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	樺井 瑞紀 <令和3年4月> 学士(看護学)
		基本看護技術Ⅰ 基本看護技術Ⅱ
兼任	助教	齊藤 優 <令和3年4月> 学士(看護学)
		成人看護演習
兼任	助手	杉原 敏士 <令和2年4月> 修士(健康科学)
		スポーツ・健康科学

事任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齡) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

(注) 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年末時点の情報として記入してください。)
○認可申請書は設置届出書の形式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
○「認証時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全員（兼任、兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、**既認定又は届出済みから変更となる箇所は赤色の筆跡として下さい。**
各欄の作成方法は、「大学の設置等に関する提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・年齢は、それが**その年の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
・専任（専門大学等は専、実習、実研、実み）、兼任、兼任の順に記入してください。
・不要な年齢（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・授業の充実及び教員の負担軽減を考慮し、「自然科学」を兼任教員松井太衛教授から専任教員の尾形宗士郎講師に変更。
- ・授業の充実及び教員の負担軽減を考慮し、「生命科学」に三浦惠一講師を追加。
- ・授業の充実を図るため、「英語」を兼任教員ローレンスマイルズ講師、クリストファードナルソン講師から服部しのぶ准教授、堀内（後藤）ちとせ准教授に変更。
- ・退職の盛田麻己子准教授、就任前の村井はるか准教授、服部しのぶ准教授、高田佳代子講師の代わりに、「基礎ゼミ」に楠本順子教授、渡邊亜紀子准教授、尾形宗士郎講師、竹差美紗子助教、川村真紀子助教、堀田由季佳助教、林 未佳子助教、助手2名を追加。
- ・退職に伴い、「人体形態学」を兼任教員の加藤好光准教授、水谷謙明講師から、学部の専任教員の西井一宏准教授に変更。
- ・退職に伴い、「人体機能学」の盛田麻己子准教授を削除。
- ・退職に伴い、「看護のための病態生理」盛田麻己子准教授を削除し、専任教員の尾形宗士郎講師を追加。
- ・授業の充実を図るため、「看護学概論」に、兼任教員の眞野恵子教授、松下寛代講師、瀧口紀子講師を追加。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るために、「対人コミュニケーション」に専任教員の久納智子教授、藤原 郁教授、世古留美教授、岡島規子講師、LENGUYEN KIM NGAN講師、明石優美講師、梅村慶子助教、廣瀬大輔助教、川村真紀子助教、助手1名、兼任教員（実務経験者）の加藤吉朗助教、馬場ひかる助教、藤田可那子助教、浅野亮助教、黒田健太助教、中村友香助教、中田詩乃助教、天野千笑助教、犬飼祐美助教、井上奈津樹助教、萩野宏美助教を追加。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るために、「基本看護技術Ⅰ」に昇格した川村真紀子助教、新規採用の渡邊亜紀子准教授、助手1名、専任教員（実務経験者）の加藤吉朗助教、馬場ひかる助教、藤田可那子助教、浅野亮助教、黒田健太助教、中村友香助教、中田詩乃助教、天野千笑助教、犬飼祐美助教、井上奈津樹助教、岡村栄由助教を追加。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るために、「基本看護技術Ⅱ」に昇格した川村真紀子助教、新規採用の渡邊亜紀子准教授、助手1名、兼任教員（実務経験者）の加藤吉朗助教、馬場ひかる助教、藤田可那子助教、浅野亮助教、黒田健太助教、中村友香助教、天野千笑助教、犬飼祐美助教、大見亞里沙助教、岡村栄由助教を追加。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るために、「看護過程展開論Ⅰ」に新規採用の専任教員渡邊亜紀子准教授、助手1名を追加。
- ・「基礎看護学実習Ⅰ」に基づき看護学領域新規採用の渡邊亜紀子准教授と助手1名、昇格した川村真紀子助教、竹差美紗子助教、林 未佳子助教、兼任教員助手2名追加し、世古留美教授、北村真弓准教授、宮本美穂准教授、田辺幸子講師を削除。

【令和2年度】

- ・他学科への異動のため、「医療論」を小野木啓子教授から林睦晴教授に変更。
- ・退職に伴い、「文学」を松村美奈講師から畠中愛美講師に変更。
- ・退職に伴い、「自然科学」を尾形宗士郎講師からら三浦惠一講師に変更。
- ・授業の充実及び教員負担軽減を顧慮し、「スポーツ健康科学」に杉原叡土助手を追加。
- ・退職に伴い、「看護のための病態生理」尾形宗士郎講師を削除。
- ・教育の充実及び教員負担軽減を顧慮し、「化学」に手塚裕之講師に変更。
- ・退職に伴い、「基礎セミ」田辺幸子講師、加藤勝子講師、伊藤裕子助教、尾形宗士郎講師、倉田亮子講師、林未佳子助教を削除し、加藤睦美准教授、浅岡裕子講師、中畠ひとみ助教を追加。
- ・教育の充実を図るため、「人体形態学」に金津直樹助教を追加。
- ・教育の充実を図るため、「看護学概論」に原久美講師を追加。
- ・教育の充実を図るため、「基礎看護技術Ⅰ」に朝居朋子准教授、清水純准教授、清水三紀子講師、杉浦将人助教を追加。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るため、「基本看護技術Ⅱ」に兼任教員の伊藤栄助教、稻垣駿美助教、釜谷夏海助教、久野真里奈助教、近藤沙弥助教、市岡結衣助教、生駒裕助教、大島早織助教、大嶋智美助教、田中なつみ助教、尾閑貴昭助教、市岡結衣助教、大島早織助教、大嶋智美助教、田中なつみ助教、尾閑貴昭助教、本田裕加里助教、鈴木結偉助教、齋藤裕也助教を追加。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るため、「基礎看護技術Ⅱ」に兼任教員の伊藤栄助教、釜谷夏海助教、久野真里奈助教、近藤沙弥助教、市岡結衣助教、大島早織助教、大嶋智美助教、田中なつみ助教、尾閑貴昭助教、本田裕加里助教、鈴木結偉助教、齋藤裕也助教を追加。
- ・教育の充実を図るため、「老年看護学概論」に橋本順子教授、竹差美紗子助教を追加。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るため、「英語」にPLANTE STEEVE准教授、LAURENCE MILES HISROP講師を追加。
- ・退職に伴い、「基礎看護学実習Ⅰ」田辺幸子講師、伊藤裕子助教、林未佳子助教を削除し、またLENGUYEN KIM NGAN講師削除。浅岡裕子講師、堀田由季佳助教を追加。
- ・退職に伴い、「異文化看護概論」を田辺幸子講師から朝居朋子准教授に変更。
- ・教育の充実及び教員負担軽減を顧慮し、「国際医学概論」に専任教員の川井薰教授、朝居朋子准教授、LENGUYEN KIM NGAN講師、兼任教員の中井滋教授、金平蓮教授、日比谷信教授、井平勝教授、辻岡勝美教授、稻本陽子教授、村井はるか准教授、大橋暉准教授、大塚圭准教授、林直樹准教授、酒井一由准教授、伊藤桜子准教授、藤垣英嗣講師、清野溪講師、兼任教員のZAID BIN ABDULLAH講師、尾形宗士郎講師を追加。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るため、「ボルトガル語」を鈴木めぐみ教授から宮坂ヘジーナ講師に変更。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るため、「社会保障論」に朝岡昌史講師、池田寛講師を追加。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るため、「社会福祉論」に伊藤秀樹講師を追加。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るため、「公衆衛生物学」を鈴木康司教授から川井薰教授に変更。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るため、「疫学」を川戸由紀講師から専任教員の世古留美教授、兼任教員の則武雅代講師を追加。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るため、「コラブリメンタリーセラピー」に専任教員の織田千賀子講師、兼任教員の則武雅代講師を追加。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るため、「家族と看護」荒堀裕子助教、石龜敏子助教を削除し、専任教員の織田千賀子講師、富田元講師、影浦直子助教を追加。
- ・他学科への移動のため、「成人期疾病論Ⅰ」を小野木啓子教授から林睦晴教授に変更。
- ・他学科への移動のため、「成人期疾病論Ⅱ」を小野木啓子教授から林睦晴教授に変更。
- ・教育の充実を図るため、「老年看護学援助論」に専任教員の楠本順子教授、竹差美紗子助教を追加、兼任教員の渥美雅子講師、鈴木華代講師、奥田真衣助教、佐藤久恵助教、佐藤康平助教、小川薫助教、浅野佑実助教、太田葉月助教、竹内優真助教、長谷川優樹助教、田中友梨奈助教、日置絢子助教を追加。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るため、「在宅看護学概論」に兼任教員の松下寛代講師を追加。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るため、「在宅看護学方法論」に専任教員田崎あゆみ准教授、富田元講師を追加、兼任教員として山口里美講師、渡邊みさ講師、阿部祐子助教、塩谷泰子助教を追加。
- ・退職に伴い、「成人がん・難病・ターミナル看護方法論」を盛田麻己子准教授から専任教員の加藤睦美准教授、兼任教員の世古留美教授、兼任教員の織田千賀子講師、浅岡裕子講師、近藤彰助教、影浦直子助教、堀田由季佳助教に変更、兼任教員の神納美保講師、水谷洋講師、鈴木祐子助教を追加。
- ・退職に伴い、「成人セルフケア方法論」を倉田亮子講師から専任教員の浅岡裕子講師、影浦直子助教に変更、兼任教員の櫻木千恵子講師、伊藤あゆみ講師、日比野葵助教、芝崎奈美枝助教、池田真弓助教を追加。
- ・授業の充実及び教員の負担軽減を考慮し、「母性セルフケア看護Ⅱ」に専任教員の清水三紀子講師を追加。
- ・授業の充実を図るため、「看護過程展開論Ⅱ」に専任教員の渡邊亜紀子准教授、川村真紀子助教を追加、兼任教員の酒井博崇講師、塩澤創助教、釜谷夏海助教、田元成仁助教、鈴木結偉助教、齋藤史郎助教、松田奈々助教、松原章惠助教、神崎愛実助教、大久保麻衣助教、大島早織助教、太平志帆助教、片岡朋佳助教、堀田智助教を追加。
- ・授業の充実を図るため、「成人期疾病論Ⅲ」を高田佳代子講師から専任教員の佐藤俊准教授に変更、兼任教員の大森鮎子講師、谷川阿紀講師、吉井美穂助教、上村昂齊助教、石川智加助教、石谷朋紀助教を追加。
- ・定年退職に伴い、「小児期疾病論」を畠忠善教授から鈴木達也教授、工藤寿子教授、池住洋平教授、河村吉紀准教授、石原直子准教授、中島葉子准教授、藤野正之准教授、中島陽一准教授、齋藤和由准教授、岡本薰講師、加藤えり那講師に変更。
- ・専門性の深化及び授業の充実を図るため、「精神保健看護論」に兼任教員の磯村毅教授を追加。
- ・教育の充実を図るため、「基礎看護学実習Ⅱ」の伊藤裕子助教を削除し、専任教員の渡邊亜紀子准教授、浅岡裕子講師、竹差美紗子助教、川村真紀子助教、堀田由季佳助教を追加。
- ・退職に伴い、「公衆衛生看護学実践論Ⅰ」を加藤勝子講師から専任教員の世古留美教授、中畠ひとみ助教に変更。
- ・退職に伴い、「公衆衛生看護学実践論Ⅱ」加藤勝子講師を削除し、専任教員の宮本美穂准教授、清水純准教授を追加、兼任教員の加藤まり助教を追加。
- ・専門性の深化及び教育の充実を図るため、「学校保健・産業保健」に専任教員の中畠ひとみ助教を追加。
- ・退職に伴い、「公衆衛生看護学実習Ⅰ」加藤勝子講師を削除し、専任教員の中畠ひとみ助教を追加。
- ・退職に伴い、「公衆衛生看護学実習Ⅱ」加藤勝子講師を削除し、専任教員の中畠ひとみ助教を追加。

【令和3年度】

【令和3年度】
教育の充実を図るために、「基礎ゼミ」に専任教員の川井薰特任教授を削除し、伊藤美保講師、金チューイー助教、加藤治実助教、兼任教員の村井はるか准教授を追加。 健康上の理由及び教育の充実を図るために、「生活環境方法論」を北村真弓准教授から川上友美講師、岩瀬敬佑助教に変更。 退職に伴い「免疫学」に兼任教員の山本恵申教授から専任教員の明石優美、兼任教員の松浦秀哲講師に変更。 教育の充実を図るために、「教育学」を兼任教員の勝間田明子講師から肥田武講師に変更。 教育の充実を図るために、「疫学」は兼任教員の藤井亮輔助教を削除し、専任教員の世古教授と兼任教員の鈴木康司教授に変更。 専門性の深化及び教育の充実を図るために、「医療論」は専任教員の林陸晴教授から、兼任教員の磯部一郎教授、河田健司教授、岩田充永教授、近藤一直教授、剣持敬教授、須田康一教授、大高洋平教授、大野良治教授、武地一教授、矢上晶子教授、鈴木敦詞教授、兼任教員の高橋和男教授に変更。 教育の充実を図るために、「英会話」に兼任教員の堀内(後藤)ちとせ准教授を追加。 教育の充実を図るために、「英語」に兼任教員のLaurence Miles Hislop講師を追加。 教育の充実を図るために、「看護英語Ⅰ」に村井はるか准教授を追加。 専門性の深化を図るために、「看護英語Ⅱ」は村井はるか准教授から堀内(後藤)ちとせ准教授に変更。 教育の充実を図るために、「看護学概論」に専任教員のLENGUYEN KIM NGAN講師、岡島規子講師を追加。 領域変更に伴い、「基礎看護技術Ⅰ」から岡島規子講師を削除。 教育の充実を図るために、「基本看護技術Ⅰ」に専任教員の三吉友美子教授、渡邊亜希子准教授、加藤治実助教を追加。また、兼任教員の伊藤茉助教、稻垣鮎美助教、久野真里奈助教、市岡結衣助教、生駒俊裕助教、大島早織助教、大嶋智美助教、田中なつみ助教、本田裕加里助教、鈴木結偉助教、釜谷夏海助教から、英保舞子助教、山口真実助教、水上奈津季助教、大石真由助教、島澤美千子助教、櫻井瑞紀助教、佐藤久惠助教に変更。 領域変更に伴い、「基本看護技術Ⅱ」から岡島規子講師を削除。 教育の充実を図るために、「基本看護技術Ⅱ」に専任教員の三吉友美子教授、加藤治実助教を追加。また、兼任教員の伊藤茉助教、釜谷夏海助教、久野真里奈助教、市岡結衣助教、大島早織助教、大嶋智美助教、田中なつみ助教、本田裕加里助教、鈴木結偉助教から、英保舞子助教、山口真実助教、水上奈津季助教、大石真由助教、島澤美千子助教、櫻井瑞紀助教、佐藤久惠助教に変更。 教育の充実を図るために、「リハビリテーション看護」に専任教員の田崎あゆみ准教授、兼任教員の小野木啓子教授、園田茂教授を追加。また、兼任教員の芝崎奈美枝講師、新家翼講師、西川圭二講師、生駒後裕講師、藤村健太助教を追加。 教育の充実を図るために、「人体形態学」に専任教員の酒井一由准教授を追加。 教育の充実を図るために、「放射線医学」に兼任教員の林直樹准教授、兼任教員の加藤良一教授、小林正尚講師、浅田恭生教授、立木秀一特任講師、兼任教員の福場崇講師、小林謙一講師を追加。 教育の充実を図るために、「精神疾病論」から兼任教員の江崎幸生教授を削除し、兼任教員の大河内智准教授、奥谷理講師、佐久間健二講師、林 崇助教、中野萌助教に変更。 専門性の深化及び教育の充実を図るために、「小児期疾病論」に兼任教員の吉川哲史教授、杉本えり那に変更。 教育の充実を図るために、「看護過程展開論Ⅰ」から専任教員の皆川敦子准教授、岡島規子講師、梅村慶子助教、川村真紀子助教を削除し、専門教員の水野暢子教授、渡邊亞紀子准教授に変更。 領域変更に伴い、岡島規子講師を「基礎看護学実習Ⅰ」から削除。 専門性の深化及び教育の充実を図るために、「基礎看護学実習Ⅰ」から専任教員の清水純准教授、川上友美講師からLENGUYEN KIM NGAN講師、浅岡裕子講師、加藤治実助教に変更。 教育の充実を図るために、「コンプリメンタルセラピー」から兼任教員の則竹雅代講師から兼任教員の沢崎健太教授、河村愛助教に変更。 領域変更に伴い、「看護過程展開論Ⅱ」から岡島規子削除。 教育の充実を図るために、「看護過程展開論Ⅱ」の兼任教員の伊藤茉助教、塩沢剣助教、釜谷夏海助教、大島早織助教、田元成仁助教、鈴木結偉助教から、専任教員のLENGUYEN KIM NGAN講師、加藤治実助教、兼任教員の小林桃子助教、小林洋平助教、中村恵理助教、本庄麗実助教、竹内優真助教に変更。 教育の充実を図るために、「成人セルフケア方法論」に兼任教員の池田真弓助教から専任教員の堀田由季佳に変更し、兼任教員の吉田昭絵助教を追加。 領域変更に伴い、「基礎看護学実習Ⅱ」から岡島規子講師を削除。専門性の深化を図るために、「基礎看護学実習Ⅱ」から清水純准教授、川上友美講師、曾我武史講師を削除し、金チューイー助教、加藤治実助教を追加。 専門性の深化を図るために、「母性セルフケア看護Ⅱ」に兼任教員の川崎市郎教授を追加。 教育の充実を図るために、「在宅看護学方法論」に兼任教員の山口里美講師から青木千穂講師に変更。 教育の充実を図るために、「成人生期疾病論Ⅲ」の兼任教員の谷川ア紀助教から林和弥助教に変更。 教育の充実を図るために、「小児実践看護Ⅱ」に兼任教員の井上紗恵助教、橋詰優香助教、松川文香助教、田野真佐実助教を追加。 専門性の深化と教育の充実を図るために、「家族と看護」の専任教員の石川敬子助教を削除し、田崎あゆみ准教授、浅岡裕子講師に変更。 退職に伴い、「成人期疾病論Ⅲ」の専任教員の佐藤俊充准教授から兼任教員の高田佳代子講師に変更。 専門性の深化を図るために、「老年看護学援助論」から兼任教員の日置眞助教、長谷川優樹助教、奥田真衣助教から金岡哲二助教、板野真衣助教に変更。 専門性の深化を図るために、「小児実践看護Ⅰ」に、専任教員の朝居朋子准教授、杉浦将人助教、兼任教育の坪井佳奈子助教を追加。 教育の充実を図るために、「成人セリフティカル・周手術期看護方法論」に兼任教員の大竹真歩助教から専任教員の加藤睦美准教授に変更する。 教育の充実を図るために、「成人看護学演習」に専任教員の加藤睦美准教授、浅岡裕子講師、堀田由季佳助教を追加する。また、兼任教員の横井由貴助教、河邊真之介助教、垣内香菜助教、金重美香助教、古川理彩助教、後藤成美助教、坂入里実助教、山田友美助教、酒井沙藍助教、船戸祐一郎助教、多幡星良助教、大岩那奈助教、池谷美宥助教、竹内実穂助教、畔柳文香助教、末澤悠奈助教、齊藤優助教、大嶋智美助教を追加。 教育の充実を図るために、「在宅看護学演習」に専任教員の岩瀬敬佑助教を追加。 教育の充実を図るために、「母性セルフケア看護Ⅲ」に兼任教員の安藤和希助教、横井葵助教、神谷祥子助教、神谷明美助教を追加。 教育の充実を図るために、「公衆衛生看護援助方法論」に専任教員の中畠ひとみ助教を追加。 教育の充実を図るために、「公衆衛生看護管理論」に専任教員の中畠ひとみ助教を追加する。 教育の充実及び教員の調整のため、「公衆衛生看護学概論Ⅱ」に専任教員の世古留美教授から宮本美穂准教授に変更。 教育の充実を図るために、「母性看護学実習」から久納智子特任教授から兼任教員の神谷明美講師に変更。 教育の充実を図るために、「老年看護学実習Ⅰ」に専任教員の楠本順子を追加。 教育の充実を図るために、「老年看護学実習Ⅱ」に専任教員の楠本順子を追加。 専門性の深化及び教育の充実を図るために、「成人看護学実習（クリティカル・周手術）」に専任教員の加藤睦美准教授、浅岡裕子講師、堀田由季佳助教を追加。 専門性の深化及び教育の充実を図るために、「成人看護学実習（セルフケア）」に専任教員の加藤睦美准教授、浅岡裕子講師、近藤彰助教、堀田由季佳助教を追加。 教育の充実を図るために、「在宅看護学実習」に専任教員の岩瀬敬佑助教を追加。 健康上の理由から「精神看護学実習」の近藤千春准教授を削除。 健康上の理由及び専門性の深化を図るために、「健康教育論」は北村真弓准教授から中畠ひとみ助教に変更。 教育の充実を図るために、「地域診断論」に専任教員の宮本美穂准教授、中畠ひとみ助教を追加。 教育の充実を図るために、「国際看護」に兼任教員の酒井奈美講師、新美孝子助教を追加する。 退職に伴い、「災害看護」を田辺圭子講師から近藤彰助教に変更。 教育の充実を図るために、「看護と安全」に専任教員の水野陽子教授、渡邊亜紀子を追加。 専門性の深化及び教員の調整のため、「統合実習」から三吉友美子教授と渡邊亜希子准教授を変更。 教育の充実を図るために、「卒業研究」に専任教員の楠本順子教授、林 瞳晴教授、渡邊亜紀子准教授、加藤睦美准教授、浅岡裕子講師、竹差美紗子助教、川村真紀子助教、堀田由季佳助教、岩瀬敬佑助教、中畠ひとみ助教、加藤治実助教を追加。 教育の充実を図るために、「看護研究方法論」に専任教員の岡島規子講師を追加。 教育の充実を図るために、「看護研究方法Ⅰ」に専任教員の金チューイー助教を追加。

【令和4年度】

(記入例)

- 令和2年10月◇◇講師就任。令和2年6月教員審査済み。

- (注)
- 変更内容を箇条書きで記入してください。変がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A-C教員審査)を受けてください。A-C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 - 「専任教員採用等変更書(A-C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) -① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に における設置基準上の 必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) -② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
8	6	11	12	37	4	9	9	10	14	42	1
(8)	(6)	(11)	(12)	(37)	(4)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
10	10	10	14	44	1	10	10	10	14	44	1
[2]	[4]	[△1]	[2]	[7]	[△3]	[2]	[4]	[△1]	[2]	[7]	[△3]

(注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、

完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△ 1）

・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△ 1）

(2) -③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
63 歳	2 名	0 名

(注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) -④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{44}{37} = \boxed{118.91} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{2}{42} = \boxed{4.76} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) -⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C')}}{\text{設置時の計画（A')}} = \frac{1}{4} = \boxed{25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退(未就任)の理由		
1	准教授	盛田麻己子	H31.3	必修	人体機能学	②	H31.3.31 体調不良により、科目(特に実習)を担当することが困難になり、就任辞退(元)		
				必修	看護のための病態生理	①			
				必修	基礎ゼミ	①			
				必修	成人がん・難病・トピック看護別法論	①			
				必修	成人看護学演習	①			
				必修	看護研究方法論	①			
				必修	成人看護学実習(セカタケ)	①			
合計(D)				後任補充状況の集計(E)					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)		
1	人		必修	8科目	必修	7科目	必修 1科目		
			選択	0科目	選択	0科目	選択 0科目		
			自由	0科目	自由	0科目	自由 0科目		
			計	8科目	計	7科目	計 1科目		
(注) <ul style="list-style-type: none">・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。・「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。・昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。・また、担当予定であった科目的後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。									
<ul style="list-style-type: none">・専任教員が担当する(している)場合は「①」・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」									

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	小野木啓子	前期	選択	医療論	①	他学科へ異動(R2)	
			前期	必修	成人期疾病論Ⅰ	①		
			後期	必修	成人期疾病論Ⅱ	①		
2	准教授	伊藤桜子	前期	必修	心理学	②	他学科へ異動(R2)	
			前期	自由	国際医学概論	②		
3	講師	田辺幸子	通年	必修	基礎ゼミ	①	他大学へ異動による退職(R2)	
			後期	必修	基礎看護学実習Ⅰ	①		
			後期	自由	異文化看護学概論	①		
4	講師	加藤勝子	通年	必修	基礎ゼミ	①	私事都合による退職(R2)	
			前期	選択	公衆衛生看護学実践論Ⅱ	①		
5	講師	尾形宗士郎	前期	必修	基礎ゼミ	①	他大学へ異動による退職(R2)	
			前期	選択	自然科学	②		
			後期	必修	看護のための病態生理	②		
			前期	自由	国際医学概論	②		
6	助教	伊藤裕子	後期	必修	基礎看護学実習Ⅰ	①	私事都合による退職(R2)	
			前期	必修	基礎ゼミ	①		
			前期	必修	基礎看護学実習Ⅱ	①		
7	助教	倉田亮子	前期	必修	基礎ゼミ	①	他大学へ異動による退職(R2)	
			後期	必修	基礎看護学実習Ⅰ	①		
			前期	必修	成人セルフケア法論	①		
			前期	必修	基礎看護学実習Ⅱ	①		
8	助教	林未佳子	前期	必修	基礎ゼミ	①	大学病院へ異動(R2)	
			後期	必修	基礎看護学実習Ⅰ	①		
9	准教授	佐藤俊充	必修	成人期疾病論Ⅲ	①	R3.3.31付け 健康上の理由による辞任(R3)		
			R3.3					
合計(F)				後任補充状況の集計(G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)		
9	人		必修	18科目	必修	16科目	必修 2科目	
			選択	3科目	選択	2科目	選択 1科目	
			自由	3科目	自由	1科目	自由 2科目	
			計	24科目	計	19科目	計 5科目	

- (注)
 - 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目的後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する(している)場合は「①」
 - ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 - ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -①・(3) -② の合計

合計 (D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
10 人	必修 26 科目	必修 23 科目	必修 3 科目	必修 0 科目	選択 3 科目	選択 1 科目	選択 0 科目
	選択 3 科目	選択 2 科目	選択 1 科目	選択 0 科目	自由 3 科目	自由 2 科目	自由 0 科目
	自由 3 科目	自由 1 科目	自由 2 科目	自由 0 科目	計 32 科目	計 26 科目	計 6 科目
	計 32 科目	計 26 科目	計 6 科目	計 0 科目			

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{10}{37} = \boxed{27.02 \%}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし						
合計				後任補充状況の集計				
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
0 人	必修 0 科目	必修 0 科目	必修 0 科目	必修 0 科目	選択 0 科目	選択 0 科目	選択 0 科目	自由 0 科目
	選択 0 科目	選択 0 科目	選択 0 科目	選択 0 科目	自由 0 科目	自由 0 科目	自由 0 科目	計 0 科目
	自由 0 科目	自由 0 科目	自由 0 科目	自由 0 科目	計 0 科目	計 0 科目	計 0 科目	計 0 科目
	計 0 科目	計 0 科目	計 0 科目	計 0 科目	計 0 科目	計 0 科目	計 0 科目	計 0 科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目的後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学の所見：退職や移動による教員の科目は延べ9科目である。 専門科目においては、専任教員が担当する。また、1年生の必修科目の「看護のための病態生理」は、診療看護師が担当、また、「心理学」においては、引き続き同じ教員が担当することから教育の質は十分担保できる。 学生への周知方法：シラバスに反映させ、周知させた。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況		今後の の実施計画
届出時 (平成30年)	該当なし		該当なし		該当なし
設置計画履行状況 調査時 (令和元年)	該当なし		該当なし		該当なし
設置計画履行状況 調査時 (令和2年)	該当なし		該当なし		該当なし
設置計画履行状況 調査時 (令和3年)	該当なし		該当なし		該当なし

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は
寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、
具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を
全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。
その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般の事項

<保健衛生学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>【学部の英語名称変更】</p> <p>保健衛生学部 (School of Healthcare)</p>	<p>保健衛生学部 (School of Health Sciences) 変更年月日：平成31年4月1日</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>(1) 藤田医科大学全学教学運営委員会</p> <p>本委員会は、藤田医科大学が学長のリーダーシップの下、教育・研究・社会貢献等の機能を最大限に高めることを目的として設置する。また、内部質保証の推進に責任を負う組織として、教育課程の編成に関する全学的な方針を策定し、自己点検・評価の結果等に基づいて教育プログラムの成果を検証し、改革サイクルを確立する役割を担う。</p> <p>(2) 藤田医科大学FD・SD委員会</p> <p>本委員会は、各学部・各研究科における授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修および研究を行うこと、及び本学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るために、教職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修の機会を設けることを目的とする。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>(1) 藤田医科大学全学教学運営委員会</p> <p>(構成)</p> <p>学長、副学長、学長補佐、各学部長、各教育病院長、研究支援推進本部長、総合医科学研究所長、各学部教務委員長、大学事務局長、研究支援推進本部事務部長及び他学長が必要と認める教職員</p> <p>(開催状況)</p> <p>原則として毎月1回開催する。ただし、必要があるときは適時開催する。</p> <p>(2) 藤田医科大学FD・SD委員会</p> <p>(構成)</p> <p>学長補佐(教育担当)、各学部、各研究科より選出された教員、アセンブリ教育センター、研究支援推進本部より選出された教員又は職員、大学病院、法人本部、大学事務局より選出された職員</p> <p>(開催状況)</p> <p>原則として毎月1回開催する。ただし、必要に応じて電子メール等による持回りにより開催する。</p> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none">・本委員会の協議事項は、学長に報告し、全学教学運営委員会の承認を得なければならない。・本委員会は、必要に応じて小委員会を設置し、協議及び活動させることができる。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>(1) 藤田医科大学全学教学運営委員会</p> <ul style="list-style-type: none">・教育に関する事項 <p>ア 卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針及び入学者受け入れの方針の一体的な策定に関する事項</p> <p>イ 教育課程の編成に関する事項</p> <p>ウ 教育内容及び方法の改善に関する事項</p> <p>エ 学修成果の評価に関する事項</p> <ul style="list-style-type: none">・内部質保証に関する事項 等
--

- (2) 藤田医科大学F D・S D委員会
- ア F D又はS Dの実施方針策定に関すること
 - イ F D又はS Dの年間実施計画立案に関すること
 - ウ F D又はS Dの企画及び実施、若しくは実施の把握に関すること
 - エ F D又はS Dの成果及び報告に関すること
 - オ F D又はS Dの参加者の把握に関すること
 - カ F D又はS Dに関する情報収集と啓発活動に関すること
 - キ その他委員会が必要と認めた事項に関すること

② 実施状況

a 実施内容

委員会において、各部門で授業を担当する教員を対象として、教育の質的水準を高めるために毎年実施する以下に掲げるF Dについて、実施計画立案及び支援を行っている。

- (1) 学生による授業評価の分析結果に基づき、授業の改善を図るために学生代表者の参画を得て実施するF D
- (2) アセスメント・ポリシーを踏まえて、学修成果の評価・検証の仕組み等の理解を深め、適切な成績評価の実施を促すために実施するF D
- (3) 準備学修の具体的な内容や必要な時間、課題に対するフィードバックの方法等のシラバスに記載を求める事項に係る設定や提示方法について認識を高め、より教育効果を高めるために実施するF D
- (4) 教育研究活動をサポートするT A（ティーチング・アシスタント）等の学生スタッフを参画させて、学生スタッフを参画させて、学生スタッフの資質の養成や向上を目的として実施するF D
- (5) 学生の実践的語学力の習得を目的として実施する外国語での授業法に関するF D
- (6) 他の国内の大学とのF D実施に係る協定の下に共同により、専門教育分野に係る教育力向上を目的として年間4回以上実施するF D

b 実施方法

- (1) 外部講師を招聘し、講演会の実施
- (2) 授業改善に関わる教員と学生間での意見交換会等の実施
- (3) 教員とT A（ティーチング・アシスタント）による意見交換会等の実施
- (4) 新型コロナウイルス感染症対策等のため、Microsoft Teamsを利用しての実施
- (5) リアルタイムで受講できなかった者に対し、後日e-ラーニングにて実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

令和2年度については、以下のF D・S Dを開催した。（主なF D・S Dの内容について、以下に記載）

看護学科では、公務以外、F D研修会等の参加の義務化を徹底し、教員の教育活動としての資質向上に努めている。また、教員の参加状況については、リアルタイムで受講できなかった者は、後日e-ラーニングでの受講とし、全員参加を義務付けている。

- (1) 令和2年5月：アセスメント・プランを踏まえた成績評価について
- (2) 令和2年7月：授業評価アンケート結果の分析・検討内容に基づき、授業改善に向けて代表学生が参画
- (3) 令和2年8月：I C Tを用いたe-ラーニングや講義方法のスキルアップ演習
- (4) 令和2年8月：高大接続教育を考える
- (5) 令和2年9月：教育サポートスタッフの資質養成のための研修
　　ティーチングアシスタント（T A）との協働による実習および演習の改善
　　—コロナ渦における取り組み—
- (6) 令和2年12月：遠隔授業の併用と対面授業の改善を目的としたシラバス作成方法について
- (7) 令和2年12月：学生を理解し、指導していくために 一方法と支援の在り方—

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- (1) 学生の能動的学修意欲を引き出すような学修法や教育法の開発及び推進を行う。
- (2) 学生による授業評価及びその対応の内容を公開し、授業改善に資する。
- (3) 第三者による自己点検・評価を受け、客観的な評価を吟味、活用し、教育内容、学生への支援体制及び教育環境などについて提案・改善する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業の改善を図り、本学教育の質の一層の向上に資することを目的とし、毎年度、前期1回、後期1回の計2回、学生による授業評価アンケートを実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業ごとの評価分析結果を教員及び学生へ学内掲示等で公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

保健衛生学部は、本学の建学の理念並びに学則第1条に定める目的を踏まえ、チーム医療を推進するうえで、各学科において人間の生命を尊重する倫理観と心豊かな幅広い人間性を培い、看護学、リハビリテーション学各分野の知識・技術の修得をもとに、課題探求能力を育成し、専門的素養のある人材としてそれぞれの分野で社会に貢献できる人材を育成する。

この教育理念に基づき保健衛生学部は教育目標を設定し、公表している。

(1) 学生の受け入れについて

保健衛生学部及び看護学科、リハビリテーション学科のアドミッション・ポリシーに基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っている。

また、優れた資質をもつ学生を入学させるため、入学者選抜に関わる広報活動の充実を図っている。

⇒令和3年度入学試験（看護学科）

定員135名に対し、1,755名の志願者を集め、アドミッション・ポリシーに定める教育を受けるのに相応しい140名の入学者を確保した。

(2) 教育課程・学修成果について

教育課程の編成・実施方針に基づき、学位課程に相応しい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか？学生の学修を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか？成績評価、単位認定を適切に行っているのか？等についてP D C Aを回している。

⇒看護学科に教育課程の実施及び授業の実施等の運用事項に関するこを審議し、これに対処するため、

学科長、学科教務委員会副委員長、授業担当専任教員、高度な実務能力を有する者として学科長が推薦した教員等で構成されたメンバーにより、カリキュラム委員会を設置、運用している。

⇒遠隔講義について

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、開始した遠隔講義について、教員、学生より、対面講義と遠隔講義比較によるメリット、デメリット、問題事象等の情報を収集し、課題共有を行った。改善策等の検討を行い、F D・S Dのテーマにする等、対応を図った。

(3) 教員の資質向上及び教員組織の改善・向上について

保健衛生学部ではF D研修会への参加が義務化されていることから、看護学科では、公務以外、必ず参加することを徹底し、教員の資質向上に努めている。また、各教員が教育・研究で専門とする学会等にも参加し、必要な教育や知識の修得、他大学の教員や研究者との情報・意見交換等を行い、教員の資質向上に努めている。

⇒令和2年度はF D・S Dを全7回実施した。

(4) 適切な根拠に基づく点検・評価について

看護学科は、各教員の自己点検・評価を実施し、年次計画（目標）を立案・遂行している。具体的には、

年度初めに1年間の教育、研究、管理、社会貢献、運営等について目標を設定し、目標に対しての達成度を学科長と点検・評価を実施している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和3年11月（予定） 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和3年11月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和3年に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受けるべく準備中。

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 · 無]

« a で「有」の場合»

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 · 公表後2～3ヶ月以内 · 公表後3ヶ月以降]
c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 · その他 ()]

« a で公表「無」の場合»

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。